

CyberLink  
**Media Suite**  
ユーザーガイド



## 使用許諾契約書

この契約書の日本語訳は、英文のEnd User License Agreement ( 'EULA' ) の理解を補助する目的で作成されたものです。容易な表現と、英文契約書との整合性に注意を払って作成しておりますが、一部意識されている部分があり、本契約の詳細につきましては英文契約書を正式文書としてご覧いただきをお願いいたします。

## End User License Agreement ( EULA ) : 使用許諾契約書

当製品 ( 以下「本ソフトウェア」という ) の導入およびご利用の前に、以下の使用許諾契約書 ( 以下「本契約書」とする ) をお読みください。

本ソフトウェアのご利用にあたっては、お客様が本契約書に記載された条項を事前に承諾いただくものとし、本ソフトウェアをインストール、バックアップ、ダウンロード、アクセス、または使用することによって、お客様は本契約書の条項に承諾されたものとします。

本契約書は、本ソフトウェアに関してお客様 ( 個人または法人のいずれであるかを問いません ) とCyberLink Corp. ( 以下「サイバーリンク」といいます ) との間に締結される法的な契約書となります。

## ライセンスの許諾および保証規定

本契約書をお読みになり、記載された条項に承諾される場合は、導入画面中に表示される本契約の同意を求める画面で「はい」をクリックしてください。記載された条項に承諾いただけない場合は、インストール作業を中止し、本ソフトウェアの利用を中止するとともに、本ソフトウェアをコンピュータ上から削除してください。

## 使用権の許諾

サイバーリンクは本ソフトウェアの非独占的な権利をお客様に対して許諾し、これによりお客様は、本ソフトウェアをご購入頂いたライセンス数に準じた台数のコンピュータへインストールし、本契約記載の条項に従って本ソフトウェアを利用することができるものとします。

本ソフトウェア、付属するマニュアルなどの文書または電子文書を含む一切の印刷物 ( 以下「関連印刷物」といいます ) の第三者への賃貸、貸与、販売、変更、修正、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、転用、商標の削除などはできないものとします。

また、バックアップを目的として本ソフトウェアおよび関連印刷物の複製を作成する場合を除いて、本ソフトウェアおよび関連印刷物のコピーはできないものとします。

「再販禁止」表記のある場合を除いて、本ソフトウェアの最初のお客様は、本ソフトウェアおよび関連印刷物を一度に限りかつ他のユーザーに直接行う場合に限り、本契約書記載の条項に沿って恒久的に譲渡できるものとします。この場合、最初のお客様は本ソフトウェアおよび関連印刷物のバックアップの一切を、物理的および電子的に読み取りができないよう破棄し、コンピュータ上の本ソフトウェアおよび関連印刷物の一切を消去するとともに、譲渡されたユーザーは本契約記載の条項に承諾いただくものとします。これにより、当該ソフトウェアのご利用ライセンスは自動的に解除されます。

## 所有権

本ソフトウェアならびに関連印刷物の著作権、特許、商標権、ノウハウ及びその他のすべての知的所有権は、体裁、媒体、バックアップであるかの如何にかかわらず、その一切についてサイバーリンクに独占的に帰属します。

本契約書に特に規定されていない権利は、すべてサイバーリンクによって留保されます。

## アップグレード

本ソフトウェアが従来製品からのアップグレードであった場合、従来製品の使用権は本ソフトウェアの使用権に交換されるものとします。本ソフトウェアの導入または使用により、従来製品の使用許諾契約が自動的に解除されることにお客様は同意されたものとし、お客様による従来製品の使用、ならびに第三者への譲渡はできなくなります。

## 第三者提供のコンテンツの利用

お客様が、本ソフトウェアにより第三者から提供される画像・音声データなどのコンテンツを再生し利用する場合、その権原および無体財産権は、各コンテンツ所有者の所有物であり、著作権法およびその他の無体財産権に関する法律ならびに条約によって保護されています。本契約書は、そのようなコンテンツの使用権を許諾するものではありません。

## 保証及び責任の限定

サイバーリンクは、本ソフトウェア、関連印刷物、およびサポートサービスに起因してお客様又はその他の第三者に生じた結果的損害、付随的損害及び逸失利益に関して、一切の瑕疵担保責任および保証責任を負いません。また、本ソフトウェア又は関連印刷物の物理的な紛失、盗難、事故及び誤用等に起因するお客様の損害につき一切の保証をいたしません。

サイバーリンクは、本ソフトウェア及び関連印刷物の機能もしくはサポートサービスがお客様の特定の目的に適合することを保証するものではなく、本ソフトウェアの選択、導入、使用、およびそれによって得られる結果については、すべてお客様の責任となります。

本契約書に記載のない保証条項が発見された場合、保証対象期間はお客様が本ソフトウェアを購入された日から90日以内とし、保証金額はお客様が本ソフトウェアの購入のためにお支払いいただいた金額を超えないものとします。

お客様が本契約を解除する場合、本ソフトウェアおよび関連印刷物のバックアップを含む一切を、物理的および電子的に読み取りできない状態で破棄するとともに、コンピュータ上の本ソフトウェアおよび関連印刷物の一切を消去するものとします。本契約は、本ソフトウェアに関してお客様とサイバーリンクとの間に締結され、台湾における法律に準拠します。本契約に起因する紛争の解決については、Taiwan Arbitration Act. に準ずるものとします

## 著作権

All rights reserved.

法律の認める範囲において、Media Suiteは情報、サービス、またはMedia Suiteに関連して提供される製品についていかなる保証も行わないこと、商品性、特定目的への適合性、プライバシー保護の見込み、非侵害性についていかなる暗示的保証も行わないことを含め、明示または暗示の有無に関わらず、いかなる保証も行わず現状のまま提供されます。

このソフトウェアをご使用になると、お客様はCyberLinkがこのソフトウェアまたはこのパッケージに含まれる素材を使用した結果生じる直接的、間接的、結果的損失について一切責任を負わないことに同意したものとみなされます。

ここに記載する条件は、台湾の法律により管理および解釈されるものとします。

Media

Suiteは本書に記載されるその他の会社名および製品名と同じく登録商標であり、識別を目的としてのみ記載されており、その所有権は各社が所有しています。

## 本社

所在地

CyberLink Corporation  
15F., No. 100, Minquan Rd., Xindian Dist.  
New Taipei City 231, Taiwan (R.O.C.)

Web サイト

<http://www.cyberlink.com>

TEL

886-2-8667-1298

FAX

886-2-8667-1385

Copyright (c) 2017 CyberLink Corporation. All rights reserved.

# 目次

<b>紹介</b> .....	<b>1</b>
CyberLink Media Suite プログラム.....	2
PowerStarter のプログラム.....	2
DirectorZone とサイバーリンク クラウド.....	8
システム要件.....	9
<b>ムービー</b> .....	<b>12</b>
ムービー ディスクの再生.....	12
対応するディスク形式.....	13
ムービー ディスクの再生コントロール.....	13
再生機能.....	19
ムービー ライブラリーのムービーを閲覧、再生.....	24
メディアライブラリーのムービーを参照する.....	25
対応するムービー ファイル形式.....	26
ムービー ファイルの再生.....	26
ムービー フォルダーの再生.....	27
オンライン ムービー情報の表示.....	27
<b>動画</b> .....	<b>28</b>
動画ファイルの再生.....	28
対応する動画ファイル形式.....	29
動画の再生コントロール.....	29
動画の詳細編集.....	35
動画の整理.....	36
動画を管理する.....	37

動画の簡単編集.....	39
動画を補正する.....	40
動画の微調整を行う.....	41
動画をトリミングする.....	41
動画のキャプチャー.....	41
Web カメラ映像をキャプチャーする.....	42
動画の変換.....	42
ムービー ディスクの作成.....	44
デスクトップから動画を録画.....	45
取り込み領域を設定する.....	46
スクリーン レコーダーの設定を行う.....	52
<b>画像.....</b>	<b>55</b>
2D 画像を 3D モードで再生.....	55
画像のインポートと整理.....	56
画像を読み込む.....	56
画像を管理する.....	58
画像の編集と印刷.....	63
画像を編集する.....	63
画像の印刷.....	66
スライドショーの作成、再生.....	67
スライドショーを再生する.....	67
スライドショーを作成する.....	67
フォト ギャラリー ディスクの作成.....	72
スライドショー ディスクの作成.....	75
ディスクに入れる画像を選択する.....	75
ディスクを作成する.....	76
スライドショーのスタイルと音楽を編集する.....	77
設定詳細ディスク設定を行う.....	78
ディスクに書き込む.....	79
画像のキャプチャー.....	79
スナップショットを取得する.....	80
連続写真を取得する.....	80

高度な画像調整.....	81
<b>音楽.....</b>	<b>84</b>
音楽の再生.....	84
対応する音声形式.....	85
音楽の再生コントロール.....	85
オーディオイコライザーを使用する.....	89
オーディオ CD の取り込み.....	90
音声ファイルの変換.....	90
ミュージック ディスクの書き込み.....	91
音声の録音.....	93
音声の編集.....	94
音声をライブラリーに追加する.....	94
音声を編集する.....	95
オーディオエフェクト.....	97
音声をエクスポートする.....	98
<b>データ &amp; バックアップ.....</b>	<b>100</b>
データ ディスクの作成.....	100
ディスク コピー、ディスク イメージの書き込み.....	101
ディスクをコピーする.....	101
ディスク イメージを書き込む.....	103
ファイルのバックアップとリストア.....	104
ファイルをバックアップする.....	104
ファイルのリストアを行う.....	106
ムービー ディスクのコピー.....	108
ディスク マネージャーでディスクを管理.....	109
ディスクライブラリーにディスクを手動で読み込む.....	110
<b>ユーティリティー.....</b>	<b>113</b>
ディスクの消去.....	113

ディスク イメージからファイルを抽出.....	114
仮装ドライブのマウント.....	114
メディアをデバイスに転送.....	115
DVD フォルダーの書き込み.....	116
ディスク ラベルの印刷.....	116
ステップ 1 - ラベル種類の選択.....	117
ステップ 2 - ラベルテキストの編集.....	117
ステップ 3 - レイアウトなどの編集.....	117
ステップ 4 - 印刷.....	117
ミラー.....	118
ミラーの設定.....	118
スクリーン レコーダー.....	119
<b>CyberLink モバイル アプリ.....</b>	<b>120</b>
<b>テクニカル サポート.....</b>	<b>121</b>
テクニカル サポートにお問い合わせになる前に.....	121
Web サポート.....	122
ヘルプ リソース.....	123

## 第 1 章:

# 紹介

CyberLink Media Suite をご利用いただきありがとうございます。CyberLink Media Suite は、PC で世界中のデジタル エンターテイメントが楽しめるオールインワン マルチメディア ソフトです。



**注:**当ガイドは参考資料です。また、内容および対応するプログラムは予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

CyberLink Media Suite で実行できる機能は次の通りです。

- ディスク、ムービー ファイル、ディスク フォルダー、動画ファイル、スライドショー、音楽を再生。
- ミュージック ディスクやデータ ディスクを様々な形式で書き込み。
- パワフルな編集ツールで動画を自由に編集。
- 画像、動画、音声を他のメディア形式に変換して、ポータブル デバイスに転送。
- 画像、動画をクイック編集、補正。
- 手動で画像に高度な調整を加えたり、調整プリセットを適用。
- ブルーレイ ディスク、AVCHD、DVD ディスクをオーサリング (モーションメニュー付き)。
- 画像を整理 (フェイス タグ、スライドショー、フォト ギャラリー ディスクなどの機能)。
- 動画編集向けや友達と共有する音声ファイルを録音、トリミング、カット、エフェクトを追加。
- Web カメラからの映像、写真を取り込み。
- [スクリーン レコーダー] を使って、デスクトップの動きを録画。

- ディスク マネージャーで書き込みを行ったメディアやディスクを管理。
- データをバックアップ、リストアしたり、ディスク ラベルを作成、プリント。
- ディスクを消去、コピーしたり、ムービー ディスクをコピー。
- ディスク イメージからファイルを抽出、マウントしたり、ディスクに書き込み。

# CyberLink Media Suite プログラム

CyberLink Media Suite のプログラムは、CyberLink PowerStarter からアクセスできます。CyberLink PowerStarter を使用すると、CyberLink のすべてのソフトウェアに簡単にアクセスできます。さまざまな作業を行ったり、メディア ファイルを管理したり、ムービーを作成してディスクに整理したり、ディスクに書き込んだりできます。

## PowerStarter のプログラム

CyberLink PowerStarter から、CyberLink のすべてのソフトウェアに簡単にアクセスできます。

## メニュー アイコン



機能アイテム

クイック アクセス ボタン

タスクに合わせて必要なプログラムの機能にアクセスしたり、ソフトウェアのアップグレード/アップデートも簡単にできます。

## メニューアイコン

メニュー アイコンをクリックすると、アクセス可能な機能が表示されます。ボタンをクリックすると、各プログラムにクイック アクセスできます。使用するメディアのタイプまたは機能に対応するメニュー アイコンをクリックします。

## ムービー

[ムービー] メニューからは、ディスクのムービーを再生したり、ハード ドライブ中のムービー ファイル/フォルダーを再生したりすることができます。ここから MoovieLive.com にアクセスして、ムービーの最新情報、トレーラー、レビューなどを表示することもできます。

## 動画

[動画] メニューからは、コンピューター中の動画ファイルを整理、再生したり、ムービー プロジェクトを編集したりすることができます。動画をディスクにメニューを付けて書き込んだり、動画を他の形式に変換したり、インターネットからアップロード、共有することもできます。

## 画像

[画像] メニューからは、画像のインポート、管理、補正、編集など、様々な機能にアクセスできます。スライドショーやフォト ディスクの作成、画像の共有、印刷などの機能もご利用いただけます。

## 音楽

[音楽] メニューからは、音楽を再生したり、さまざまな形式でディスクに書き込んだりすることができます。音楽をハード ドライブに取り込んだり、他の形式に変換したり、音声を録音したり、エフェクトを付けて編集や補正を行うこともできます。

## データ&バックアップ

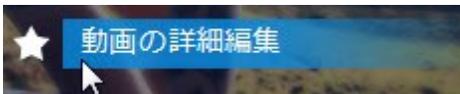
[データ&バックアップ] メニューからは、データ ファイルを各形式のディスクに書き込んだり、ディスク マネージャーで書き込みを行ったディスクを検索することができます。データおよびムービー ディスクをコピーしたり、コンピューターの大切なデータをすべてバックアップし、リストアしたりすることもできます。

## ユーティリティー

[ユーティリティー]メニューからは、ディスクを管理(作成、書き込み、ディスクイメージからファイルを抽出など)することができます。書き込みディスクの消去、ビデオディスクの編集、DVDフォルダーをディスクに書き込み、ディスクラベルのデザインおよびプリントをすることもできます。

## 機能アイテム

いずれかのメニューアイテムの上にマウスを置くと、アクセス可能な機能およびタスク内容が表示されます。いずれかの機能を選択し、対応するソフトウェアを起動して、目的のタスクを実行するか、希望する機能にアクセスします。



## クイック アクセス ボタン

CyberLink PowerStarter には、[お気に入り]、[CyberLink 製品]、[CyberLink アプリ]、[バージョン情報]、[環境設定]のクイック アクセス ボタンもあります。

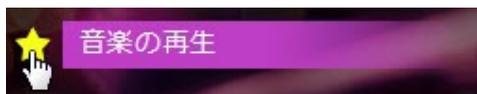


## お気に入り

[お気に入り] メニューには、よく使う機能やプログラムを登録します。  ボタンをクリックすると、[お気に入り] メニューが表示されます。

デフォルトではウィンドウは空の状態です。[お気に入り] メニューに機能やプログラムを追加するには、次の操作を行います。

1. メニュー アイコンをクリックして、[お気に入り] に追加する機能/プログラムを表示します。
2. 機能/プログラム上にマウスを移動させて、  をクリックします。



**注:** [お気に入り] メニューから機能/プログラムを削除するには、メニュー機能横のハイライトされた星を選択解除します。



## CyberLink 製品

インストールされている CyberLink プログラムの一覧を表示するには、  をクリックします。プログラムのいずれかを選択し、対応するソフトウェアを開きます。



**注:** CyberLink PowerStarter で利用可能なプログラムは、コンピューターにインストールされている製品、購入したバージョンによって異なります。

## CyberLink モバイル アプリ

 ボタンをクリックすると、Android、iOS、Windows デバイス向けのモバイル アプリにアクセスできます。詳細は、[「CyberLink モバイル アプリ」](#) を参照してください。

## バージョン情報

CyberLink PowerStarter のバージョン情報を表示するには、 をクリックします。

## 環境設定

CyberLink PowerStarter の環境設定を行うには、 ボタンをクリックし、希望する設定を選択します。

- **プログラムを閉じると CyberLink Media Suite に戻る:** CyberLink Media Suite (PowerStarter) からアクセスしたプログラムを閉じると、メインウィンドウに戻ります。
- **最新バージョンを自動的に確認する:** ソフトウェアの最新バージョンを 14 日ごとに自動的に確認します。最新バージョンがダウンロード可能になると、[アップグレード] ウィンドウの [アップデート] および [アップグレード] のボタンがハイライト表示されます。
- **CyberLink の製品情報を取得する:** [バージョン情報] ウィンドウのバナーや広告を表示します。
- **画像をカバー画像として使う:** このオプションを選択すると、CyberLink PowerStarter スタートアップ ウィンドウで画像を表示することができます。 をクリックして、コンピューター中のフォルダー (使用する画像が含まれるもの) を選択します。

- **表示言語:** プログラムの表示言語を変更する場合、 矢印をクリックして次の設定ページを開きます。[システムのデフォルト言語を使う]を選択すると、OS の言語と同じ言語で表示されます。それ以外の言語で表示するには、ドロップ ダウン リストから希望の言語を選択します。



**注:** お使いの OS 言語がプログラム対応外の場合は、デフォルトの英語で表示されます。

## CyberLink ソフトウェアをアップグレード/アップデートする



ボタンを選択して [アップグレード/アップデート] ウィンドウにアクセスすると、インストールされている CyberLink 製品のバージョンが確認できます。一覧には、バージョン番号および、無料アップグレードとアップデートの有無を示すボタンが表示されます。

- [アップデート] の  をクリックして、ソフトウェアの最新パッチをダウンロードします。
- [アップグレード] の  をクリックして、製品のアップグレード ページを開きます。

## DirectorZone とサイバーリンククラウド

DirectorZone およびサイバーリンク クラウド\* を使ってエフェクトやテンプレートをアップロード、ダウンロードしたり、メディア、基本設定、プロジェクトなどをバックアップすることができます。



**注:**\* CyberLink Media Suite のオプション機能です。バージョンの詳細については、「バージョン表」を参照してください。

## DirectorZone

DirectorZone は、エフェクト、サウンド クリップ、ディスク メニューなどを検索、ダウンロードできる無料の Web サービスです。

DirectorZone は、[www.DirectorZone.com](http://www.DirectorZone.com) からアクセスできます。また、CyberLink Media Suite 中の多くのソフトウェアからもアクセスできます。

## サイバーリンク クラウド

サイバーリンク クラウドは CyberLink のクラウド サービスで、PowerDirector のエフェクト、テンプレート、プロジェクト、出力したビデオ クリップなどをアップロード、ダウンロードすることができます。メディア、基本設定、プロジェクトなどをバックアップすることで、複数のコンピューターで同様に作業することができます。



**注:** CyberLink Media Suite の Ultimate エディションをご購入いただいた場合、サイバーリンク クラウドのサービスを 1 年間無料でご利用いただけます。当社の Web サイトからもご購入いただけます。詳細は、<http://jp.cyberlink.com/products/cyberlink-cloud> をご覧ください。

## システム要件

プログラム実行時に推奨される最小システム要件は、以下の通りです。使用するシステムがこの要件を満たしていても、一部の作業を行うためにはシステムの拡張が必要になる場合があります。

最小システム要件	
オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>Microsoft Windows 10, 8.1/8, 7。</li> </ul>

<b>プロセッサ (CPU)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Intel Core™ i-series または AMD Phenom® II。</li> </ul>
<b>グラフィックプロセッサ (GPU)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 128 MB VGA VRAM。</li> </ul>
<b>メモリー</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 2 GB 必須 (6 GB 以上を推奨)。</li> </ul>
<b>ハードディスク容量</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 5 GB 必須 (Magic Music ライブラリーには 400 MB)。</li> <li>• DVD 出力には 10GB (20 GB 推奨)。</li> <li>• ブルーレイ ディスク/HD DVD/AVCHD への出力には 60 GB (100 GB 推奨)。</li> </ul>
<b>画面解像度</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1024 x 768、16 ビット カラー。</li> </ul>
<b>動画取り込みデバイス</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• OHCI IEEE 1394 対応デバイス。</li> <li>• WDM 規格準拠の PCI または USB 1.0/2.0 キャプチャー デバイス。</li> <li>• OHCI 対応 IEEE 1394接続 のDV カムコーダー。</li> <li>• USB 2.0 接続の DVD カムコーダー。</li> <li>• Sony MicroMV/AVCHD/HDV カムコーダー。</li> </ul>
<b>書き込みデバイス</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ブルーレイ ディスクの書き込みでは A BD-RE 書き込みデバイスが必要</li> <li>• DVD/MiniDVD/AVCHD タイトルの書き込みには、DVD 書き込みデバイス (DVD+R/RW または DVD-R/RW) が必要。</li> <li>• VCD/SVCD タイトルの書き込みには、CD 書き込みデバイス (CD-R/RW) が必要。</li> </ul>
<b>マイク</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 音声録音にはマイクが必要。</li> </ul>
<b>インターネット接続</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ソフトウェアのアクティブ化、ソーシャル メディア へのアクセスには、インターネット接続が必要。</li> </ul>
<b>Blu-ray™ 3D および TrueTheater™ 3D におけるハードウェア サポート</b>	

<b>HDMI 1.4 Enabled 3DTV</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>メガネ:</b> アクティブ シャッター メガネ。</li> <li>• <b>対応するハードウェア:</b> HDMI 1.4 enabled 3D TV。</li> <li>• <b>対応するグラフィック カード:</b> NVIDIA GeForce GTX 460 and AMD Radeon HD 6800 シリーズ以上。</li> </ul>
<b>NVIDIA 3D Vision</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• NVIDIA 3D Vision または 3D Vision 2 Wireless Glasses Kit + 3D Vision-Ready Display + 3D Vision 対応の NVIDIA グラフィック カードが必要。</li> <li>• 3D VISION CD for Desktop GPUs v1.38 または Verde Notebook 3D VISION CD v1.3 をダウンロード、インストールしてください。</li> <li>• 120Hz Frame-sequential 3D LCD (NVIDIA 3D Vision-Ready)。</li> <li>• <b>ネイティブ形式:</b> 120 fps left and right。</li> <li>• <b>メガネ:</b> アクティブ シャッター メガネ (NVIDIA 3D Vision Kit)。</li> <li>• <b>対応するハードウェア:</b> Asus VG278H, Asus G51J-SZ028V, Acer GD245HQ, Acer GD235H。</li> </ul>
<b>3D Polarizer LCD</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>ネイティブ形式:</b> 水平インターリーブ。</li> <li>• <b>メガネ:</b> 偏光メガネ。</li> <li>• <b>対応するハードウェア:</b> Zalman ZM-M220W, Acer 5738DG (Notebook)。</li> </ul>
<b>3D Ready HDTV (DLP)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>ネイティブ形式:</b> チェッカーボード。</li> <li>• <b>メガネ:</b> アクティブ シャッター メガネ。</li> <li>• <b>対応するハードウェア:</b> Mitsubishi 1080p DLP HDTV, Samsung 3D Ready DLP HDTV。</li> </ul>

## 第 2 章:

# ムービー

CyberLink Media Suite から、CyberLink PowerDVD (通常の DVD プレーヤーと同様に使えるソフトウェア ディスク プレーヤー) にアクセスすることができます。ナビゲーションコントロールを使うと、好みに合わせて、インタラクティブな視聴をお楽しみいただけます。



**注:** CyberLink PowerDVD の再生機能に関する詳細は、ヘルプ ファイルを参照してください (プログラム ウィンドウでキーボードの [F1] キーを押す)。

インターネットからムービー情報を取得することもできます。

## ムービー ディスクの再生

In CyberLink Media Suite から CyberLink PowerDVD を起動して、各種ムービー ディスクを再生することができます。ムービー ディスクを再生するには、CyberLink PowerStarter の [ムービー] メニューから、[ムービー ディスクの再生] を選択します。



**注:** CyberLink PowerDVD の再生機能に関する詳細は、ヘルプ ファイルを参照してください (プログラム ウィンドウでキーボードの [F1] キーを押す)。

CyberLink PowerDVD を起動すると、モードの選択ウィンドウが表示されます。

- **PC モード:** PC を使って CyberLink PowerDVD のすべての機能がご利用いただけます。
- **TV モード:** ご自宅でホーム シネマのようにご利用いただけます。



**注:** プログラムを起動時に常に同じモードを開く場合、[選択を記憶する] オプションを選択します。選択すると、次からモードの選択ウィンドウは表示されません。

ディスクドライブにムービーディスクを挿入すると、CyberLink PowerDVD で再生が自動的に始まります。CyberLink PowerDVD を起動時にディスクドライブにすでにディスクが入っている場合、[再生] ボタンをクリックします。

## 対応するディスク形式

CyberLink PowerDVD が対応する光学ディスク形式は、次の通りです。

光学ディスクの種類	ファイル形式
ブルーレイディスク*/ブルーレイ 3D** ディスク	BDAV, BDMV
DVD	DVD-Video, AVCHD*, AVCREC*, DVD-VR, DVD+VR
CD	VCD, SVCD



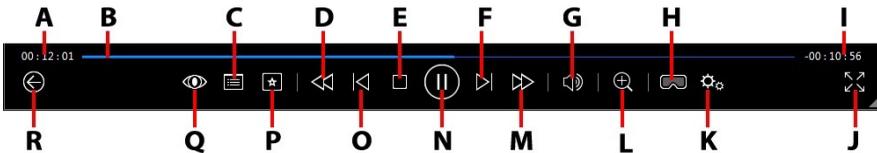
**注:** \* この機能は、CyberLink PowerDVD 17 の一部のエディションではご利用いただけません。 \*\* ブルーレイ 3D 再生対応のバージョンでは、[ブルーレイディスクのその他設定] で再生を有効にする必要があります。

## ムービーディスクの再生コントロール

[メディアライブラリー] タブの [BD/DVD ムービー] セクションでムービーディスクを再生する場合、再生コントロールは次のように表示されます。



**注:** 次の再生コントロールの説明は、PC モードのものになります。TV モードの再生コントロールに関する詳細は、TV モードのヘルプファイルをご覧ください。





注: 次の表には、再生コントロール上の特定ボタンのホットキーも含まれません。PowerDVD のすべてのホットキーと動作に関する詳細は、プログラムのヘルプ ファイルの「ホットキー表」を参照してください。

	アイコン	ボタン	ホット キー	説明
A		経過時間		現在のムービーの経過時間が表示されます。マウスを上に乗けると 2 つのボタンが表示され、前後にジャンプすることができます。⏮ をクリックすると 8 秒戻り、⏭ をクリックすると 30 秒早送りします。
B		ナビゲーション スライダー		再生経過時間を表示します。ナビゲーション スライダーをクリックしてムービーの他のシーンに移動したり、スライダーをクリック&ドラッグしてインスタントシークを使い、ムービーから特定のシーンを検索します。スライ

				<p>ダーの上にマウスを置き、インスタントサムネイルを使うと DVD を再生中に前に再生したシーンを簡単に検索することができます。</p>
C		DVD メニュー コントロール/ポップアップメニューにアクセス (ブルーレイ*再生のみ)	M	<p>再生中にこのボタンをクリックすると、DVD のタイトルとルートメニューにアクセスします。ブルーレイディスク* を再生時に、ここにポップアップメニュー ボタンが表示されます。</p> <p> またはキーボードの [M] をクリックすると、ディスクコンテンツのポップアップメニューが表示されます。</p>
D		巻戻し/コマ戻し (一時停止時)	[	<p>再生時にこのボタンをクリックして、コンテンツを巻戻し、<a href="#">[再生速度ナビゲーター]</a></p>

				にアクセスします。再生を一時停止中に  ボタンを押すと、コマ戻しされます。
E		停止	S	メディアの再生を停止します。
F		次へ	N	ムービー ディスクの次のチャプターに進みます。
G		ミュート/音量調整	Q / + および -	音量をミュート/ミュート オフします。手動で音量を調整します。このボタンの上にマウスを置いて、スライダーを使って音量を調整します。
H		3D を有効にする*		<a href="#">[3D 動画を有効化]</a> をクリックして開始します。
I		ムービー再生時間/残り時間		ムービーの再生時間と残り時間を切り替えます。
J		フル スクリーン表示	Z	フル スクリーンモードを開きます。

K		PowerDVD 設定メニュー		PowerDVD の設定メニュー (プレーヤー設定、PowerDVD の環境設定にアクセス) を開きます。
L		ズーム	Ctrl+マウスホイール**	ボタンの上にマウスを置いて、スライダーを使って動画のイメージをインスタントズーム (拡大、縮小) します (注: この機能は、ブルーレイディスクの再生中は利用できません)。拡大時に、イメージをクリック&ドラッグして他の位置に移動することができます。 ** このホットキーは設定で変更可能なため、動作が異なる可能性があります。
M		早送り/コマ送り (一時停止時)	]	再生時にこのボタンをクリックして、コンテンツを早送りし、 <a href="#">[再生</a>

				<a href="#">速度ナビゲータ</a> <a href="#">二]</a> にアクセスし ます。一時停止中 に  ボタンを クリックすると、 次のビデオ フレ ームに移動しま す。
N		再生/一時停止	スペース バー	メディアを再生/ 一時停止します。
O		前へ	P	ムービー ディス クの前のチャプタ ーに戻ります。
P		メディアの再生メニュー		再生中にこのボタ ンをクリックする と、メディア再生 メニューにアクセ スします。
Q		TrueTheater エフェクト		TrueTheater ビ デオ エフェクト のコントロールに アクセスします。 詳細は、 <a href="#">「TrueTheater エフェクト」</a> を 参照してくださ い。
R		前のウィンドウに戻る	Backspace	クリックすると、 再生を停止してメ

				ディア ライブラリーに戻ります。
		フル スクリーンから元に戻す	Z / Esc	フル スクリーンモードを終了します。
		ディスクの取り出し	Ctrl+E	再生を停止すると、このボタンが表示されます。このボタンをクリックして、選択したディスク ドライブからディスクを取り出します。



注:\* この機能は、CyberLink PowerDVD 17 の一部のエディションではご利用いただけません。

## 再生機能

ムービー再生を強化する再生機能は次の通りです。

- [TrueTheater ビデオ エンハンスメント](#)
- [3D 再生](#)
- [再生速度ナビゲーター](#)

## TrueTheater ビデオ エンハンスメント

ブルーレイ、DVD、動画ファイル (ムービー ファイルを含む)、YouTube の動画を再生中に、TrueTheater ビデオ エンハンスメントを有効にすると、高画質で再生することができます。



ボタンをクリックすると、[TrueTheater] のウィンドウが開きます。次のオプションが表示されます。

## エンハンスメント (スマート)

このタブから、再生中に TrueTheater エンハンスメントを自動的に適用することができます。TrueTheater ビデオ エンハンスメントが自動的に適用 (オン、オフ) され、パフォーマンスが最適化され、高画質、高音質で再生できます。

- **動画:**ビデオ エンハンスメントを有効にして画質を補正します。スライダーを左右にドラッグして、TrueTheater ビデオ エンハンスメントの適用レベルを調整します。TrueTheater ビデオ エンハンスメントにより、動画の明るさ、コントラスト、色彩が補正され、より鮮明に表示されます。また、動画がさらにシャープに表示され、動画のダイナミックレンジも HDR で表示されます (システムおよびディスプレイが対応する場合)。



**注:**動画の解像度が 720p を超える場合、50% 以上を選択します。

- **音声:**オーディオ エンハンスメントを有効にして音質を補正します。スライダーを左右にドラッグして、TrueTheater オーディオ エンハンスメントの適用レベルを調整します。TrueTheater オーディオ エンハンスメントにより音声が増幅し、低音と会話の音量が拡大します。

## エンハンスメント (詳細設定)

このタブから TrueTheater エンハンスメントを次のように手動で有効化、設定します。

### 動画

**[動画]** オプションを選択すると、次の True Theater ビデオ エンハンスメントを有効にできます。

- **TrueTheater HD:**元の動画をより高い解像度 (よりシャープ、ノイズなし) にアップスケールします。TrueTheater HD は、480p から1080p までブースト可能です。スライダーを使ってシャープを最適に調節します。
- **TrueTheater Lighting (CyberLink Eagle Vision2):**CyberLink 独自の映像技術で、動画コンテンツの明るさ、コントラストを調整します。これにより、非常に暗いシーンから明るいシーンまで幅広い映像が入った動画を再生する際にも、色の設定を変更する必要はなくなります。スライダーを使って、TrueTheater Lighting をお好みのレベルに調整します。
- **TrueTheater Color:**動画の彩度を調整します。スライダーを使って、動画の色をさらに鮮やかにします (肌の色に影響することなく)。
- **TrueTheater HDR\*:**お使いのグラフィック プロセッサおよびディスプレイがハイ ダイナミックレンジ (HDR) に対応する場合、このオプションを選択して動画を HDR で表示します。



**注:**\* この機能は、フル スクリーン表示にのみ対応します (HDR に対応するシステムを使う場合)。TrueTheater HDR は、HDR 動画には適用されません。また、3D 動画や他のデバイスで再生中の動画には適用されません。この機能は、CyberLink PowerDVD 17 の一部のエディションではご利用いただけません。

- **TrueTheater Motion:**フレーム レートを 24 fps から 60 fps にアップサンプリングし、アクション ムービー等の動きをさらにスムーズに再生します。TrueTheater Motion は、フレーム レートを 60 または 72 fps に改善します (ディスプレイの出カフレームによって異なります)。
- **TrueTheater Noise Reduction:**ホーム ビデオ ファイルのビデオ ノイズ (High-ISO やテレビ信号のノイズを含む) を低減します。有効にしてから、スライダーをドラッグしてノイズ リダクションのレベルを調整します。



**注:**この機能は、ディスク再生ではご利用いただけません。

- **TrueTheater Stabilizer:**手ぶれのあるホームビデオファイルに動き補償(モーションコンペンセーション)を適用します。三脚を使わずに撮影されたものや動きながら撮影された動画ファイルに適しています。



**注:**この機能は、ディスク再生ではご利用いただけません。

## 音声

**[音声]** オプションを有効にすると、TrueTheater オーディオ エンハンスメントが有効になります。スライダーを左右にドラッグして、適用レベルを調整します。TrueTheater オーディオ エンハンスメントにより音声が増幅し、低音と会話の音量が拡大します。

## 3D 再生

CyberLink PowerDVD は、3D\* ブルーレイ ディスク\*、DVD、動画ファイル、3D YouTube 動画の再生および、JPS、MPO、サイドバイサイド 3D 画像の 3D 表示に対応しています。TrueTheater 3D\* を使って 2D ブルーレイ ディスク\*\*、DVD ムービー、動画ファイル、YouTube 動画、画像 を 3D に変換することもできます。

**3D 再生時の注意:**3D 動画を再生中に頭痛、眩暈、吐き気、目がぼやける、その他の症状を感じた場合は、直ちに動画鑑賞を止め、医者 の指示を仰ぐようお勧めします。



**注:**\* この機能は、CyberLink PowerDVD 17 の一部のエディションではご利用いただけません。

## 3D 再生を有効にする

3D\* 再生を有効にするには、再生コントロールの  ボタンを選択して、**[3D メディアを 3D で再生]** オプションを選択します。すべての 3D メディア (3D\*\* ブルーレイ ディスク、DVD、3D 動画ファイル、3D 画像) の再生が有効になり、3D メディアを選択すると 3D で自動的に再生されます。



**注:\*\*** 3D ブルーレイ ディスク再生対応の CyberLink PowerDVD のエディションでは、設定で再生を有効にする必要があります。

2D メディアを 3D に変換\* する場合、「3D ディスプレイの基本設定 - 全般」の **[2D メディアを 3D に変換]** オプションを選択します。再生を開始すると、TrueTheater 3D により、すべての 2D メディア (2D ブルーレイ ディスク、DVD、動画ファイル、YouTube 動画、画像) が 3D に変換されます。



**注:** 3D 再生を無効にするには、上のオプションを選択解除してください。

3D ディスプレイまたは再生の設定を調整するには、再生コントロールの  をクリックして **[その他 3D 設定]** を選択します。



**注:\*** この機能は、CyberLink PowerDVD 17 の一部のエディションではご利用いただけません。3D の再生中は、一部の機能が無効になります。

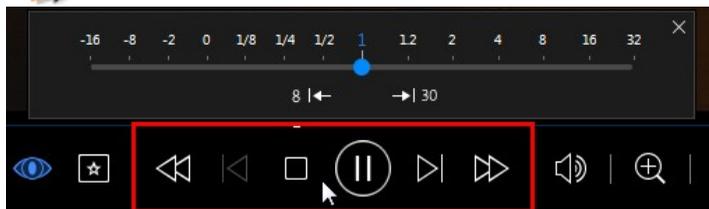
## 再生速度ナビゲーター

ムービー ディスク、ムービー ファイル中のコンテンツまたは動画ファイルを巻戻し/早送りするには、再生中に  または  ボタンをクリックして、再生速度ナビゲーターにアクセスします。





注:プレーヤー コントロールの上または下を右クリックして、このパネルにアクセスすることもできます。



ブルーのコントロール スライダーを左にドラッグすると標準再生速度の最大 16 倍速で、右にドラッグすると最大 32 倍速で巻戻し/早送りすることができます。

8 | ← をクリックして 8 秒前へ、→ | 30 をクリックして 30 秒後へスキップすることもできます。

キーボードのスペース バーを押すとコントロール パネルが閉じ、通常の再生に戻ります。

## ムービー ライブラリーのムービーを閲覧、 再生

CyberLink PowerStarter の [ムービー] メニューから [ムービー ライブラリーのムービーを閲覧、再生] を選択すると、CyberLink PowerDVD が起動します。



注:次のムービー ファイルの検索、再生に関する説明は、PC モードのものになります。TV モードの再生に関する詳細は、TV モードのヘルプ ファイルをご覧ください。

[ムービー ライブラリー] で、ムービー ライブラリー中のムービー ファイルを閲覧、再生することができます。ムービー ファイルは、コンピューターのハード ドライブに保存される DVD/ブルーレイ ディスク\* フォルダーおよび個々の動画 ファイルです。

## メディア ライブラリーのムービーを参照する

[メディア ライブラリー] の [ムービー] タブの [ムービー ライブラリー] セクションでムービー ファイルを参照時に、ムービー カバー アートや評価情報などを表示することができます。ウィンドウ右上の下矢印をクリックして、**[最近再生したムービー 10]** または **[未再生のムービー]** を表示することもできます。



**注:**再生コントロールのズーム スライダー (インスタント スケール) を使って、ムービー カバー アートのサイズを変更することができます。メディア ライブラリーに最新のムービー ファイルが表示されない場合、 をクリックして更新します。

ライブラリーを参照時に、各ムービー ファイルの横にアイコンが表示されます。内容は次の通りです。

-  - 未再生のムービー。
-  - 途中まで再生されたムービー。
-  - 以前再生されたムービー。

ムービー ファイルのカバー アートが表示されない場合、ムービー ファイルのフォルダーに画像ファイル (JPG または PNG 形式) を挿入して、「フォルダー」と名前を付け、カバー アートとして使用します。ムービー ファイルを右クリックして、**[カバー アートの設定]** を選択することもできます。[画像の選択] ダイアログで、カバー アートとして使用する画像をハード ドライブから選択します。



**注:**ライブラリーに間違ったムービー ファイルのカバー アートが表示される場合、それをクリックして **[オンライン情報の非表示]** を選択し、そのムービーと関連する情報を削除します。

メディア ウィンドウのムービー ファイル サムネイルを右クリックして **[ファイル保存先]** を選択すると、Windows エクスプローラーでフォルダーの場所が表示されます。メディア ライブラリー (およびコンピューターのハード ドライブ) からムービー ファイルを削除するには、ファイルを右クリックして **[ディスクから削除]** を選択します。

## 対応するムービー ファイル形式

CyberLink PowerDVD が対応するムービー ファイル形式は、次の通りです。

**ムービー ファイル形式:** 264, 265\*, 26L, 3G2, 3GP, 3GP2, 3GPP, ASF, AVC, AVI, BSF\*, DIV, DIVX\*, DVR-MS, FLV, H264, H265\*, HEVC\*, JSV, JVT, M1V, M2P, M2T, M2TS, M2V, M4V, MK3D\*, MKV, MOD, MOV, MP4, MP4V, MPE, MPEG, MPG, MPV, MTS, MVC\*, QT, TOD, TP, TPD, TRP, TS, TTS, VC1\*, VOB, VRO, WM, WMV, WTV。



**注:** \* この機能は、CyberLink PowerDVD 17 の一部のエディションではご利用いただけません。

## ムービー ファイルの再生

ムービー ファイルを再生するには、次のいずれかを実行します。

- CyberLink PowerDVD のユーザー インターフェイスまたは PowerDVD のデスクトップ アイコンに、ムービー ファイルを直接ドラッグ&ドロップします。
- メディア ライブラリーのムービー ファイルを再生するには、メディア パネルの **[ムービー]** から  を選択します。ムービー ファイルが含まれるフォルダーを参照し、ムービー ファイルをダブルクリックして、再生を開始します。
- ハード ドライブ中のムービー ファイルを再生するには、メディア パネルの **[マイ コンピューター]** タブをクリックして、ムービー ファイルを含むフォルダーを検索します。ムービー ファイルをダブルクリックすると、再生が開始します。
- CyberLink PowerDVD がムービー ファイルのデフォルト プレーヤーの場合、Windows エクスプローラーのファイルをダブルクリックすると再生が開始されます。



**注:**ムービー ファイルを再生中に利用可能なコントロールおよび再生機能は、[「動画の再生コントロール」](#) を参照してください。

## ムービー フォルダーの再生

ハード ドライブ中の DVD および保護されていないブルーレイ ディスク\* フォルダーを再生することができます。ムービー フォルダーを再生するには、次の操作を行います。



**注:** 次のムービー フォルダーの再生に関する説明は、PC モードのものになります。TV モードの再生に関する詳細は、TV モードのヘルプ ファイルをご覧ください。

1. **[ムービー]** メニューの **[ムービー フォルダーの再生]** を選択すると、CyberLink PowerDVD が起動します。
2. メディア パネルの **[ムービー]** をクリックして、 をクリックします。
3. 再生コントロールの  ボタンをクリックして、ムービー フォルダーを検索、選択します。
4. **[OK]** をクリックし、再生ボタンを押して再生を開始します。



**注:** \* この機能は、CyberLink PowerDVD 17 の一部のエディションではご利用いただけません。

## オンライン ムービー情報の表示

インターネットから最新のムービー情報を見るには、**[ムービー]** メニューの **[オンライン ムービー情報の表示]** を選択して、MoovieLive の Web サイトにアクセスします。最新ムービーのリリース情報や、評価の高いムービー、再生回数が多いムービーが表示されます。ムービーのレビュー、トレーラー、俳優の情報などを入手することもできます。

## 第 3 章:

# 動画

CyberLink Media Suite の動画機能では、様々なタスク (CyberLink PowerDVD で動画ファイルを再生したり、CyberLink PowerDirector で動画を編集したり、CyberLink PowerProducer でムービー ディスクを出力など) を実行することができます。CyberLink MediaEspresso で動画を他のファイル形式に変換したり、CyberLink MediaShow で動画を整理、補正、共有したりすることもできます。



**注:**これらのプログラムと機能に関する詳細は、製品のヘルプ ファイルを参照してください。

## 動画ファイルの再生

CyberLink PowerDVD で動画ファイルを再生するには、CyberLink PowerStarter の **[音楽]** メニューから **[動画ファイルの再生]** 機能を選択します。CyberLink PowerDVD のメイン ウィンドウが表示されます。



**注:**次のムービー ファイルの検索、再生に関する説明は、PC モードのものになります。TV モードの再生に関する詳細は、TV モードのヘルプ ファイルをご覧ください。

動画ファイルを再生するには、次のいずれかを実行します。



**注:**CyberLink PowerDVD の再生機能に関する詳細は、ヘルプ ファイルを参照してください (プログラム ウィンドウでキーボードの **[F1]** キーを押す)。

- CyberLink PowerDVD のユーザー インターフェイスまたは PowerDVD のデスクトップ アイコンに、動画ファイルを直接ドラッグ&ドロップします。
- メディア ライブラリーの動画ファイルを再生するには、メディア パネルの **[動画]** を選択して、動画を含むフォルダーを検索します。動画ファイルをダブルクリックすると、再生が開始します。

- ハード ドライブ中の動画ファイルを再生するには、メディア パネルの [**マイ コンピューター**] タブをクリックして、動画ファイルを含むフォルダーを検索します。動画ファイルをダブルクリックすると、再生が開始します。
- CyberLink PowerDVD が動画ファイルのデフォルト プレーヤーの場合、Windows Explorer のファイルをダブルクリックすると再生が開始されます。



**注:**再生コントロールのリストは、[「動画の再生コントロール」](#)を参照してください。動画ファイルを再生中に利用可能な再生機能は、[「再生機能」](#)を参照してください。

## 対応する動画ファイル形式

CyberLink PowerDVD が対応する動画形式は、次の通りです。

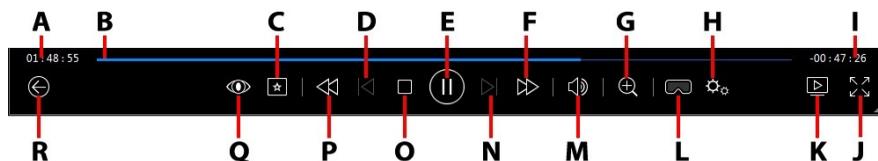
**動画形式:** 264, 265\*, 26L, 3G2, 3GP, 3GP2, 3GPP, ASF, AVC, AVI, BSF\*, DIV, DIVX\*, DVR-MS, FLV, H264, H265\*, HEVC\*, JSV, JVT, M1V, M2P, M2T, M2TS, M2V, M4V, MK3D\*, MKV, MOD, MOV, MP4, MP4V, MPE, MPEG, MPG, MPV, MTS, MVC\*, QT, TOD, TP, TPD, TRP, TS, TTS, VC1\*, VOB, VRO, WM, WMV, WTV。



**注:**\* この機能は、CyberLink PowerDVD 17 の一部のエディションではご利用いただけません。

## 動画の再生コントロール

[メディア ライブラリー] タブの [**動画**] セクションで動画ファイルを再生する場合、または [ムービー ライブラリー] セクショでムービー ファイルを再生する場合、再生コントロールは次のように表示されます。





注: 次の表には、再生コントロール上の特定ボタンのホットキーも含まれません。PowerDVD のすべてのホットキーと動作に関する詳細は、プログラムのヘルプ ファイルの「ホットキー表」を参照してください。

	アイコン	ボタン	ホット キー	説明
A		経過時間		現在の動画の経過時間が表示されます。マウスを上に乗けると 2 つのボタンが表示され、前後にジャンプすることができます。⏮ をクリックすると 8 秒戻り、⏭ をクリックすると 30 秒早送りします。
B		ナビゲーション スライダー		再生経過時間を表示します。ナビゲーション スライダーをクリックして動画の他のシーンに移動したり、スライダーをクリック&ドラッグしてインスタントシークを使い、動画から特定のシーンを検索します。スライダーの上に

				マウスを置き、インスタントプレビューを使うと、ムービー ファイルを再生中に前に再生したシーンを簡単に検索することができます。
C		メディアの再生メニュー		再生中にこのボタンをクリックすると、メディア再生メニューにアクセスします。
D		前へ	P	フォルダー/プレイリスト中の前の動画ファイルに戻ります。
E		再生/一時停止	スペース バー	メディアを再生/一時停止します。
F		早送り/コマ送り (一時停止時)	]	再生時にこのボタンをクリックして、コンテンツを早送りし、 <a href="#">[再生速度ナビゲータ]</a> にアクセスします。一時停止中に  ボタンをクリックすると、次のビデオ フレ

				ームに移動します。
G		ズーム	Ctrl+マウス ホイール**	ボタンの上にマウスを置いて、スライダーを使ってイメージをインスタントズーム(拡大、縮小)します。拡大時に、イメージをクリック&ドラッグしてイメージの他の位置に移動することができます。**このホットキーは設定で変更可能なため、動作が異なる可能性があります。
H		PowerDVD 設定メニュー		PowerDVD の設定メニュー(プレーヤー設定、PowerDVD の環境設定にアクセス)を開きます。
I		動画再生時間/残り時間		ムービーの再生時間と残り時間を切り替えます。
J		フルスクリーン	Z	フルスクリーンモードを開きま

				す。
K		再生先		メディア ライブラリー中のムービーファイル、シリーズ動画、動画を選択し、このボタンをクリックして他のデバイスまたはディスプレイで再生します。
L		VR モードを開く/3D* を有効にする		<a href="#">[3D 動画を有効化]</a> をクリックして開始します。
M		ミュート/音量調整	Q / + および -	音量をミュート/ミュート オフします。手動で音量を調整します。このボタンの上にマウスを置いて、スライダーを使って音量を調整します。
N		次へ	N	フォルダー/プレイリスト中の次の動画に移動します。
O		停止	S	メディアの再生を停止します。

P		巻戻し/コマ戻し (一時停止時)	[	再生時にこのボタンをクリックして、コンテンツを巻戻し、 <a href="#">[再生速度ナビゲーター]</a> にアクセスします。再生を一時停止中に  ボタンを押すと、コマ戻しされます。 <b>注</b> :この機能は、一部の動画ファイル形式ではご利用いただけません。
Q		TrueTheater エフェクト		TrueTheater ビデオ エフェクトのコントロールにアクセスします。詳細は、 <a href="#">「TrueTheater エフェクト」</a> を参照してください。
R		前のウィンドウに戻る	Backspace	クリックすると、再生を停止してメディア ライブラリーに戻ります。
		右回転	Ctrl+.	[メディア ライブラリー] の [動画] セクションで動画

				ファイルを再生、参照中に、画像を右に 90 度回転します。 <b>注:</b> この機能は、動画の解像度もしくはディスプレイの解像度が 3300 x 1900 を超える場合、ご利用いただけません。
		フルスクリーンから元に戻す	Z / Esc	フルスクリーンモードを終了します。
		共有		メディア ライブラリーの [動画] セクションで動画ファイルを参照中に、Facebook、YouTube、Vimeo で共有します。



**注:**\* この機能は、CyberLink PowerDVD 17 の一部のエディションではご利用いただけません。

## 動画の詳細編集

CyberLink PowerDirector を使うと、お持ちの動画ファイルをプロ並みの作品に編集することができます。

CyberLink PowerDirector で動画を編集するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter の **[動画]** メニューから、**[動画の詳細編集]** を選択します。
2. 必要に応じて CyberLink PowerDirector の **[フル機能エディター]** を選択して、編集ウィンドウを開きます。
3.  をクリックして、次のいずれかのオプションを選択します。

- **メディア ファイルの読み込み**:メディア ファイルを個別に読み込みます。
- **メディア フォルダーの読み込み**:使用するメディア ファイルを含むフォルダー全体を読み込みます。



**注**:メディアを CyberLink PowerDirector のウィンドウにドラッグ&ドロップして、プログラムに読み込むこともできます。

4. ムービーの編集を続行します。必要に応じて、追加メディアは Flickr および Freesound から、カスタム エフェクトおよびタイトルは DirectorZone からダウンロードすることができます。



**注**:CyberLink PowerDirector の動画編集に関する詳細は、ヘルプ ファイルを参照してください (編集ウィンドウでキーボードの [F1] キーを押す)。

## 動画の整理

CyberLink MediaShow のライブラリーにすべての動画をインポートしたら、動画を整理して、編集したり、書き込みを行ったり、インターネットにアップデートしたりすることができます。

CyberLink MediaShow で動画を整理するには、CyberLink PowerStarter の **[動画]** メニューから、**[動画の整理]** を選択します。CyberLink MediaShow のメイン ウィンドウが表示されます。

## 動画を管理する

メディア ライブラリーで動画のサムネイルを表示すると、複数の管理オプションが表示されます。メディア ライブラリーのフォルダー/タグ/アルバムなどをダブルクリックして、その中の動画をすべて表示します。

## タグを追加、編集する

メディア ライブラリーの動画にキーワード検索タグを追加することができます。タグを付けると、ライブラリーの特定の動画を簡単に検索することができます。また、コンテンツを YouTube にアップロードする場合に、ユーザーがキーワード タグから興味のあるメディアを検索できるため便利です。

### タグを追加する

キーワード タグをライブラリーの動画ファイルに追加するには、ファイルを右クリックして **[タグの追加]** を選択します。ライブラリーから複数の動画ファイルまたはメディア アルバムを選択し、メディア ウィンドウ上の **[編集] > [タグ]** を選択することもできます。ポップアップ メニューから、追加するキーワード タグを選択します。

新しいキーワード タグを追加することもできます。

### 新しいタグを追加する

ライブラリーに新しいキーワード タグを追加するには、ポップアップ メニューから次の操作を行います。



**注:** 複数の動画ファイルまたはメディア アルバム全体を、ライブラリー サイド バーの **[タグ]** セクションにドラッグ&ドロップすることで、簡単にキーワード タグを付けることができます。

1. ライブラリーの動画ファイルを右クリックして、**[タグの追加]** を選択します。

2. [タグの追加] ウィンドウに新しいタグ名を入力して、 をクリックします。
3. [完了] を選択します。タグが追加され、選択した動画ファイルに適用されます。

## アルバムの作成および管理を行う

新しいアルバムを作成したり、既存のアルバムに動画を追加したりして、整理した動画は、スライドショーやムービー ディスクなどに利用することができます。

### アルバムに動画を追加する

動画をアルバムに整理して、スライドショー、ムービー プロジェクトなどで使うことができます。アルバムに動画を追加するには、メディア ファイルを右クリックして **[アルバムに追加]** を選択します。ポップアップ メニューから、次のアルバムのいずれかを選択します。

- **お気に入りメディア**: お気に入りのメディア アルバムに動画ファイルを追加します。メディアを再生中に  ボタンを選択して、このアルバムに動画を追加することもできます。
- **新規アルバムの作成**: メディア ライブラリーに新しいアルバムを作成して、選択した動画を追加します。
- **カスタム アルバム**: 作成したカスタム メニューがポップアップ メニューに表示されます。それを選択して、動画をアルバムに追加します。

同じ操作を繰り返して、動画をアルバムに追加します。

## 新しいアルバムを作成する

メディア ライブラリーに新しいアルバムを追加するには、次の操作を行います。

1. [アルバム] セクションの **[新規アルバムの作成]** を選択するか、ライブラリーの動画ファイルを右クリックして、**[アルバムに追加] > [新規アルバムの作成]** を選択します。
2. [アルバム情報] ウィンドウには、次の情報を入力します。
  - **名前:** アルバム名を入力します。
  - **日付:** アルバムの日付 (メディア撮影日またはアルバム作成日) を入力します。
  - **撮影場所:** メディアの撮影場所を入力します。
  - **説明:** このアルバムの説明を入力します。
3. **[OK]** を選択します。カスタム アルバムがメディア ライブラリーに保存されます。

## 動画の簡単編集

CyberLink MediaShow は、動画クリップから不要部分をトリミングしたり、動画の修正が行える、様々な編集機能を搭載しています。



**注:** 動画ファイルを編集しても、元のクリップには適用されません。編集集中に編集ログが記録され、新しい動画ファイルバージョンを保存するかどうかが表示されます。

動画を補正するには、次の操作を行います。



**注:** 動画に加えた修正は簡単に元に戻すことができます。メディア ウィンドウのアイテムを右クリックして、**[変更を元に戻す]** を選択します。  をクリックして、**[動画の編集 - ログ]** を使って、特定の変更内容に戻します。

1. CyberLink PowerStarter の **[動画]** メニューから、**[動画の簡単編集]** を選択します。CyberLink MediaShow のメイン ウィンドウが表示されます。
2. メディア ライブラリーから編集する動画をすべて選択し、メディア トレイにドラッグ&ドロップします。
3. **[編集]** ボタンから **[メディアの編集]** を選択します。[編集] ウィンドウが開きます。



**注:**メディア ライブラリーから複数の動画を選択し、右クリックして **[編集]** を選択し、[編集] ウィンドウにアクセスすることもできます。

動画の編集が完了したら、**[プレビュー]** ボタンを選択して再生します。新しい動画ファイルとして保存する場合は、**[保存]** を選択します。**[共有]** ボタンを選択して、友達や家族に送信したり、ソーシャル メディア サイトに投稿します。詳細は、[「ソーシャルネットワークにアップロードする」](#) を参照してください。

## 動画を補正する

CyberLink MediaShow は、明暗補正、手ぶれ映像補正、オーディオ・ビデオ ノイズ低減など、動画を素早く補正するツールを搭載しています。

[編集] ウィンドウから  タブを選択して、動画に次の補正を行います。

- **手ぶれ映像の補正:**手ぶれ映像を自動補正します。
- **明暗自動補正:**動画の明暗を自動補正します。
- **ビデオ ノイズ低減:**ビデオ クリップ中のブロック ノイズを低減します。
- **オーディオ ノイズ低減:**オーディオトラックの背景ノイズを低減します。スライダーをドラッグして、ノイズの低減レベルを設定します。

**[閉じる]** を選択して変更内容を保存します。**[戻る]** を選択して、動画を新しいファイルとして出力、エクスポートします。

## 動画の微調整を行う

動画の **[輝度]**、**[コントラスト]**、**[彩度]**、**[ホワイトバランス]** を手動で調整するには、**[編集]** ウィンドウの **[微調整]** 機能を使用します。  タブを選択し、スライダーを使って動画のプロパティを調整します。

**[閉じる]** を選択して変更内容を保存します。**[戻る]** を選択して、動画を新しいファイルとして出力、エクスポートします。

## 動画をトリミングする

**[編集]** ウィンドウの **[トリミング]** ボタンを選択して、ビデオ クリップを部分的にトリミングします。ユーザー インターフェイスの手順に従って、保持または削除するシーンにマークを付けます。

**[適用]** を選択してビデオ クリップをトリミングします。**[戻る]** を選択して、動画を新しいファイルとして出力、エクスポートします。

## 動画のキャプチャー

CyberLink YouCam\* を使って、エフェクト、アバター、ガジェット、フレーム、フィルター、パーティクル、変形を適用した Web カメラ映像をキャプチャーすることができます。



**注:** \* CyberLink Media Suite のオプション機能です。バージョンの詳細については、「バージョン表」を参照してください。

CyberLink YouCam を使って動画をキャプチャーするには、**[動画]** メニューから、**[動画のキャプチャー]** を選択します。CyberLink YouCam のメイン ウィンドウが表示されます。



**注:** CyberLink YouCam は、HD (1280x720) 録画に対応しています (Web カメラがこの解像度を出力可能な場合)。**[キャプチャー解像度]** の詳細は、「キャプチャー & スナップショットの設定」を参照してください。

Web カメラ映像をキャプチャーするには、キャプチャー コントロールのビデオ オプションを選択します。



## Web カメラ映像をキャプチャーする

Web カメラ映像をキャプチャーするには、次の操作を行います。

1. キャプチャーの準備ができたなら、キャプチャー コントロールの  ボタンをクリックします。
2. Web カメラ映像のキャプチャーが開始します。映像にエフェクトを加えることもできます。



**注:**キャプチャーを一時停止するには、 をクリックします。一時停止し

た位置からキャプチャーを続けるには、もう一度  をクリックします。

3. 映像のキャプチャーを停止するには、 ボタンをクリックします。
4. 映像のキャプチャーを停止するとキャプチャー コンテンツ エリアに配置され、キャプチャー フォルダーに保存されます。



**注:**キャプチャーした動画ファイルを右クリックして、**[ファイル保存先]** を選択すると、ファイルの保存先が表示されます。

## 動画の変換

CyberLink MediaEspresso を使うと、動画を各種ポータブル デバイス、ゲーム コンソールなどに対応する形式に変換することができます。

動画を変換するには、次の操作を行います。



**注:**このプログラムと機能に関する詳細は、製品のヘルプ ファイルを参照してください。

1. CyberLink PowerStarter の **[動画]** メニューから **[動画の変換]** を選択します。CyberLink MediaEspresso が開きます。
2. **[メディアのインポート]** ボタンをクリックして、**[ファイル]** を選択して個別の動画ファイルをインポートするか、**[フォルダー]** を選択して特定のフォルダー中のすべての動画をインポートします。
3. インポートおよび変換するすべての動画ファイルを選択して、**[開く]** ボタンをクリックします。
4. 次に、変換先の形式を **[携帯電話]**、**[メディアプレーヤー]**、**[ゲームコンソール]** から選択します。



**注:****[変換]** ボタンを選択して、作成したカスタム プロファイルを使ってメディアを変換することができます。この機能の詳細は、キーボードの [F1] キーを押して、MediaEspresso のヘルプ ファイルを参照してください。

5. 動画ファイルを変換するには、次を選択します。
  - **[動画]** のドロップダウン メニューから、メディア形式のプロファイルを選択します。設定できるプロファイルは、選択したデバイス モデルによって異なります。
  - **[スマートフィット]** を選択すると、元の動画に基づいて、最高の形式および解像度が自動選択されます。
  - **[その他]** を選択すると、その他のプロファイルを設定することができます。動画の形式、縦横比、音声形式が設定できます。設定できる形式およびオプションは、選択したデバイス モデルによって異なります。
6. 必要に応じて、利用可能な変換設定から選択します。詳細は、MediaEspresso ヘルプの「**変換の設定**」のセクションを参照してください。
7. **[OK]** をクリックして、変換を開始します。

## ムービー ディスクの作成

簡単な手順で、コンピューター中の動画ファイルを CD、DVD、ブルーレイ ディスク形式のムービー ディスク (メニュー付き) で出力することができます。CyberLink PowerProducer を使うと、3D ブルーレイ、AVCHD、DVD ディスクのオーサリング、書き込みを行うこともできます。

CyberLink PowerProducer でムービー ディスクを出力するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウの **[動画]** メニューから、**[ムービー ディスクの作成]** を選択し、作成するディスクの形式を選択します。CyberLink PowerProducer のメディア選択ウィンドウが表示されます。



**注:** CyberLink PowerProducer のディスク カスタマイズに関する詳細は、ヘルプ ファイルを参照してください (プログラム ウィンドウでキーボードの [F1] キーを押す)。

2. ディスクの動画形式を選択します。詳細は、CyberLink PowerProducer ヘルプ ファイルの **「メディアを選択する」** セクションを参照してください。
3. 次に、動画をキャプチャーするか、既存の動画ファイルをプログラムにインポートします。詳細は、CyberLink PowerProducer ヘルプ ファイルの **「PowerProducer にメディアをインポートする」** セクションを参照してください。
4. ムービー ディスク用のディスク メニューを選択、カスタマイズします。詳細は、CyberLink PowerProducer ヘルプ ファイルの **「ディスク メニューをカスタマイズする」** セクションを参照してください。
5. ディスクをファイナライズして、ディスクに書き込みます。詳細は、CyberLink PowerProducer ヘルプ ファイルの **「ディスクをファイナライズする」** セクションを参照してください。

# デスクトップから動画を録画

[スクリーンレコーダー]\*を使うと、マウスの動きやコンピューターの使用状況を録画して、チュートリアルビデオを作成したり、Webキャストの録画などができます。



**注:**\* CyberLink Media Suite のオプション機能です。バージョンの詳細については、「バージョン表」を参照してください。

画面を取り込むには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter の **[動画]** メニューから、**[デスクトップから動画を録画]** を選択します。[スクリーンレコーダー]のダイアログが表示されます。



2. 取り込みを行う前に、次のように録画の設定をします。

- **縦横比:**画面の縦横比を **[16:9]** または **[4:3]** から選択します。



**注:**正しくない縦横比を選択すると、動画中に黒い帯が表示されます。

- **マウス クリック:**録画動画に表示されるマウス クリックの色を、パネルの中から選択します。動画中にマーク (アニメーション) を記録しない場合、 オプションを選択します。

- **取り込み領域**:取り込みを行う領域を、**[全画面]**、**[アプリ画面に合わせる]**、**[カスタム]** から選択します。取り込み領域に関する詳細は、[「取り込み領域を設定する」](#) を参照してください。
  - **設定**:録画を行う前に、**[設定]** ボタンをクリックして [スクリーン レコーダー] の設定 (ファイル形式、フレーム レート、解像度など) を行います。詳細は、[「スクリーンレコーダーの設定を行う」](#) を参照してください。
3. 準備ができたら、**[録画]** ボタンをクリックして取り込みを開始します。カウントダウンの画面が表示され、その後録画が開始します。
  4. 録画が完了したら、デスクトップ キャプチャーの停止ホットキー (デフォルトでは **[F10]**) を押します。ホットキーが有効になっていない場合、最小化されたスクリーン レコーダーのダイアログをクリックして、 ボタンをクリックします。
  5. 録画が停止すると、動画ファイルは [「スクリーンレコーダーの設定」](#) で指定したフォルダーに保存されます。設定で **[PowerDirector に読み込む]** を有効にしている場合、CyberLink PowerDirector のウィンドウに直接戻り、動画ファイルもメディア ライブラリーに直接読み込まれます。



**注:****[PowerDirector に読み込む]** のオプションが有効になっていない場合、取り込み後にダイアログが表示されます。**[編集]** ボタンをクリックして PowerDirector を起動して編集します。または **[録画]** ボタンをクリックして他の動画を録画します。

## 取り込み領域を設定する

[スクリーン レコーダー] を使う前に、取り込みを行う領域を設定します。次のオプションから選択します。

- [フルスクリーン](#)
- [アプリ画面に合わせる](#)
- [カスタム](#)



注: 正しくない縦横比を選択すると、動画中に黒い帯が表示されます。

## フルスクリーン

コンピューターの全画面を取り込む場合、 ボタンをクリックします。

## アプリ画面に合わせる

起動中のプログラム ウィンドウのみを取り込む場合、 ボタンをクリックします。取り込みを行うプログラムの上にマウスを置いて、取り込み領域を設定します。プログラムの周りは黄色い点線で示されます。



この中が取り込みが行われる領域になります。録画を開始前にプログラムを移動すると、[スクリーンレコーダー]もプログラムの位置に合わせて移動します。



録画開始後は、指定した取り込み領域のみが記録されます。取り込み領域からプログラムを移動しても、[スクリーンレコーダー]はプログラムウィンドウに合わせて移動しません。



## カスタム

手動で取り込み領域のサイズを設定する場合 (マウスをクリック&ドラッグ)、



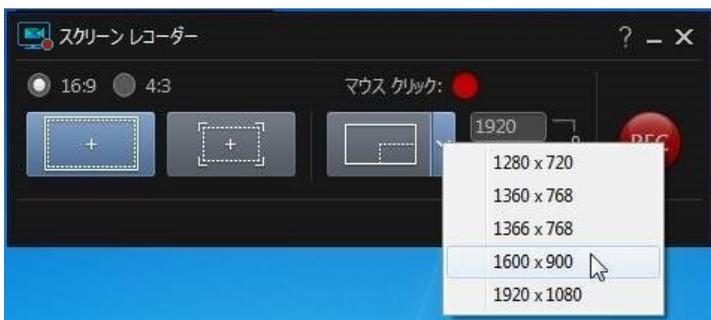
ボタンをクリックします。



取り込む領域のサイズは、録画を開始する前にいつでも変更することができます。



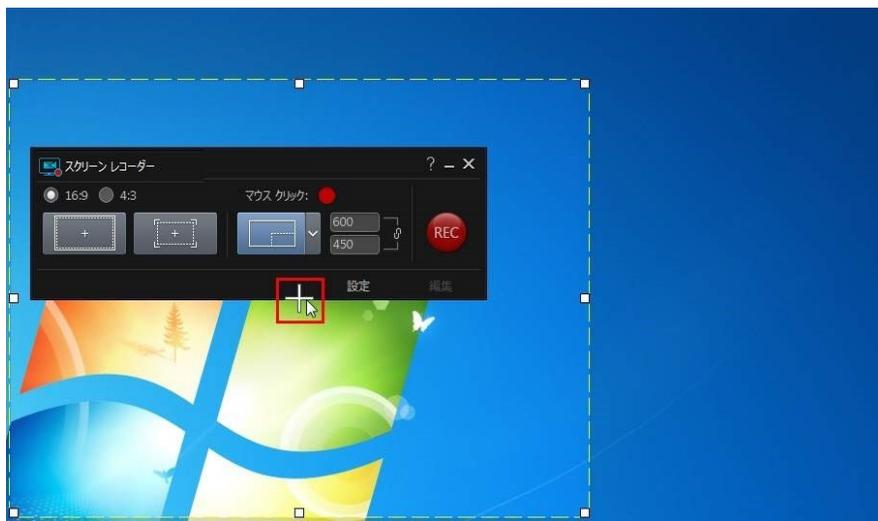
カスタム領域ボタンの下矢印をクリックして、固定のサイズを選択したり、



カスタム領域のサイズ (ピクセル) を入力することもできます。



録画前であれば、取り込み部分をクリック&ドラッグして、他の位置に移動することができます。



## スクリーン レコーダーの設定を行う

[スクリーン レコーダーの設定] ウィンドウでは、次のように設定します。

### ファイルの設定:

- **ファイル名:**動画ファイルに付けるデフォルトの名前を入力します。
- **形式:**動画ファイルのファイル形式を選択します。MP4 および WMV のファイル形式から選択できます。
- **解像度:**動画ファイルの解像度を選択します。解像度を高くすると、出力されるファイルのサイズは大きくなります。
- **フレーム レート:**動画ファイルのフレーム レート (フレーム/秒) を設定します。フレーム レートを高くすると、出力されるファイルのサイズは大きくなります。
- **保存先:**ファイルが保存されるフォルダーが表示されます。このフォルダーを変更するには、 ボタンをクリックして新しいフォルダーを選択します。
- **PowerDirector に読み込む:**このオプションを選択すると、取り込んだファイルはメディア ライブラリーに直接読み込まれます。

### 音声の設定:

- **ナレーション:**コンピューターにマイクが接続されていて、録画中にナレーションも録音する場合、**[オン]** オプションを選択します。**[設定]** ボタンをクリックして、次のようにマイクを設定します。**[入力デバイス]** のドロップダウンから、接続されたマイク/入力デバイスを選択します。マイクのサウンド チェックを行い、**[入力音量]** スライダーで録音レベルを設定します。**[OK]** をクリックして、変更内容を保存します。
- **システム音声:**コンピューターのサウンド カードからの音声を録音する場合 (ループバック)、**[オン]** オプションを選択します。システム音声とコンピューターで再生される音声も動画に入ります。

- **ミキシング**:スライダーを使って、音声のミキシング レベル (マイク、コンピュータのサウンド カード) を設定します。

#### コントロールの設定:

- **一時停止/再開**:録画を一時停止するホットキーを設定します。このホットキーは、録画の再開時にも使います。
- **停止**:録画を停止するホットキーを設定します。
- **ホットキーを有効にする**:録画中に上のホットキーを有効にする場合、このオプションを選択します。このオプションが選択されていない場合、最小化されたスクリーン レコーダーのダイアログをクリックして、一時停止や停止を行う必要があります。

## スクリーン レコーダーの詳細設定

[詳細] ボタンをクリックして、[スクリーン レコーダーの詳細設定] にアクセスします。設定可能なオプションは次の通りです。

#### モニターの設定:

- コンピューターに 2 つのモニターが接続され、デスクトップを拡張している場合、取り込みを行うモニターを **[プライマリー]** または **[セカンダリー モニター]** から選択します。

#### パフォーマンスの設定:

- **ハードウェア ビデオ エンコーディング**:ハードウェア エンコーディングを使って録画のパフォーマンスを改善する場合、このオプションを選択します (コンピュータが対応している場合)。
- **ハイ パフォーマンス モードを有効にする**:Windows Aero を無効にして録画のパフォーマンスを改善する場合、このオプションを選択します (Windows 7/Vista のみ)。

#### 編集の設定:

- **記録中に .mrk ファイルを作成する**:取り込み時に、マウス クリックの跡を含むログ ファイルを作成する場合、このオプションを選択します。取り込んだファイルをタイムラインに追加すると、マウス クリックはクリップ マーカートラックに表示されます。タイムラインに他のメディア クリップを追加すると、クリップ マーカーに位置合わせの線が表示され、ナレーションや音楽と合わせることができます。

## 第 4 章:

# 画像

CyberLink Media Suite の [画像] メニューでは、CyberLink MediaShow を使って、画像の管理、編集、共有ができます。画像をスライドショーに出力したり、フォト ギャラリー ディスクを作成したり、様々な形式で印刷したり、スライドショー DVD を作成したり、ソーシャル ネットワークで共有したりすることができます。



**注:**これらのプログラムと機能に関する詳細は、製品のヘルプ ファイルを参照してください。

## 2D 画像を 3D モードで再生

メディア ライブラリーの 2D 画像を 3D 画像に変換することができます。

画像を 3D に変換するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter の **[画像]** メニューから、**[2D 画像を 3D モードで再生]** を選択します。CyberLink MediaShow のメイン ウィンドウが表示されます。
2. メディア ライブラリーから 3D に変換する画像をすべて選択し、メディア トレイにドラッグ&ドロップします。
3. **[作成]** ボタンから、**[2D から 3D 画像]** を選択します。
4. [3D 画像の作成] ウィンドウでは、次のオプションが設定できます。
  - **名前:** 新規に作成した 3D 画像のファイル名を入力します。
  - **種類:** 3D 画像ファイルの形式を選択します。今現在、MPO 形式のみご利用いただけます。
  -  ボタンを選択して、変換する画像を保存する場所をコンピューターのハード ドライブから指定します。

- 変換する画像を何に使用するか選択します (表示用や印刷用など)。

5. **[OK]** を選択して、2D 画像を 3D に変換します。

## 画像のインポートと整理

[画像] 機能では、コンピューター中のすべての画像を CyberLink MediaShow にインポートすることができます。CyberLink MediaShow の画像機能を使って、アルバムに整理したり、キーワード検索タグを追加したり、フェイス タグを付けたりすることもできます。

CyberLink MediaShow で画像をインポート、整理するには、CyberLink PowerStarter の **[画像]** メニューから、**[画像のインポートと整理]** を選択します。CyberLink MediaShow のメイン ウィンドウが表示されます。

## 画像を読み込む

コンピューター、光学ディスク、リムーバブル デバイス中の画像を CyberLink MediaShow のプログラムに簡単にインポートすることができます。

## 対応する形式

CyberLink MediaShow は、次の画像形式に対応しています。

**画像:** BMP、JPG、PNG。

**RAW 画像形式:** RAW 画像のほとんどの形式に対応しています。

**3D 画像形式:** MPO。

## 画像をコンピューターにインポートする

フォルダー中の画像をコンピューターにインポートするには、次の操作を行います。



注: CyberLink MediaShow のウィンドウに画像をドラッグ&ドロップして、プログラムにインポートすることもできます。

1. CyberLink MediaShow window で、メディア ライブラリーの  ボタンをクリックします。
2.  ボタンをクリックして、メディア ライブラリーにフォルダーを追加します。プログラムを起動するたびに一覧にあるフォルダーがスキャンされ、新しい画像が自動的にライブラリーに読み込まれます。



注: スキャン済みのフォルダー リストからフォルダーを削除するには、そのフォルダーを選択して  を選択します。

3. **[OK]** をクリックして、変更内容を保存します。スキャン フォルダー リストに追加したフォルダー中の画像 (対応形式) がすべてインポートされます。

## 光学/ポータブル デバイスからインポートする

CyberLink MediaShow では、光学デバイス (CD、DVD、ブルーレイ ディスクドライブ) またはリムーバブル デバイス (携帯電話、USB リムーバブル ハードドライブ、メモリー スティックなど) から画像をインポートすることができます。

光学/ポータブル デバイスからインポートを行うには、次の操作を行います。

1. コンピューターにデバイスが接続されていることを確認して (必要な場合は電源をオン)、**[インポート]** ボタンを選択します。
2. リストからインポート元のデバイスを選択します (光学ドライブ、カメラ、携帯電話など)。
3. インポート ウィンドウには、ディスク、デバイス、ポータブル ハードドライブなどのコンテンツが表示されます。デフォルトでは、すべてのメディアサムネイルが選択されます。ライブラリーにインポートしない画像を選択解除します。

4. インポート ウィンドウの下には、次のオプションがあります。
  - **パス:** コンピューターのハード ドライブから画像の保存先を指定します。
  - **フォルダー名:** 新規のメディア フォルダー名を入力します。
  - **重複を除く:** 以前ライブラリーにインポートされた画像はインポートされません。
  - **インポート後にソース デバイス/カードからファイルを削除する:** インポート後にポータブル デバイスから画像を削除する場合は、このオプションを選択します。
5. **[選択アイテムをインポート]** を選択して、選択した画像をコンピューターの指定するフォルダーにインポートします。

## 画像を管理する

メディア ライブラリーで画像のサムネイルを表示すると、複数の管理オプションが表示されます。メディア ライブラリーのフォルダー/タグ/アルバムなどをダブルクリックして、その中の画像をすべて表示します。

## タグを追加、編集する

メディア ライブラリーの画像にキーワード検索タグを追加することができます。タグを付けると、ライブラリーの特定の画像を簡単に検索することができます。また、コンテンツを Flickr にアップロードする場合に、ユーザーがキーワード タグから興味のあるメディアを検索できるため便利です。

## タグを追加する

キーワード タグをライブラリーの画像に追加するには、ファイルを右クリックして **[タグの追加]** を選択します。ライブラリーから複数の画像またはメディア アルバムを選択し、メディア ウィンドウ上の **[編集] > [タグ]** を選択することもできます。ポップアップ メニューから、追加するキーワード タグを選択します。

新しいキーワード タグを追加することもできます。

### 新しいタグを追加する

ライブラリーに新しいキーワード タグを追加するには、ポップアップ メニューから次の操作を行います。



**注:**複数の画像またはメディア アルバム全体を、ライブラリー サイド バーの **[タグ]** セクションにドラッグ&ドロップすることで、簡単にキーワード タグを付けることができます。

1. ライブラリーの画像を右クリックして、**[タグの追加]** を選択します。
2. **[タグの追加]** ウィンドウに新しいタグ名を入力して、**+** をクリックします。
3. **[完了]** を選択します。タグが追加され、選択した画像に適用されます。

## フェイス タグを付ける

メディア ライブラリーの画像中の顔に手動または自動でタグを付けることができます。タグ付けが完了すると、メディア ライブラリーの **[フェイス タグ]** セクションに配置されます。Facebook でも共有することができます。

### 自動でフェイス タグを付ける

顔認識技術を使って、画像中の顔を自動で検出します。CyberLink MediaShow でまとめて顔を検出するには、次の操作を行います。



**注:**複数の画像またはフォト アルバム全体を、ライブラリー サイド バーの **[フェイス タグ]** セクションにドラッグ&ドロップすることで、簡単にフェイス タグを付けることができます。

1. メディア ライブラリー サイド バーの **[フェイス タグ]** セクションを選択します。
2. **[フェイス タグ]** ボタンを選択します。



**注:**ライブラリーから複数の画像またはフォト アルバムを選択し、メディア ウィンドウ上の **[編集] > [フェイス タグ]** を選択することもできます。

3. フェイス タグの付け方を次から選択します。

- **全画像からタグ付け:**メディア ライブラリーの全画像から顔をスキャンしてタグを付けます。**[開始]** ボタンを選択して、タグ処理を開始します。
- **指定画像からタグ付け:**特定のメディア フォルダー中の画像から顔をスキャンしてフェイス タグを付けます。**[次へ]** を選択して、続行します。**[開始]** を選択します。



**注:**メディア トレイの画像にフェイス タグを付けるには、**[メディア トレイの画像からタグ付け]** を選択します。

- **前のタグ処理から続行する:**前回タグ付け処理が完了していない場合は、このオプションを選択します。



**注:**コンピューターの VGA カードが CUDA または DirectX 11 に対応し、十分なリソースがある場合は、**[顔分析用にハードウェア サポートを有効にする]** を選択して、画像の分析時間を短縮します。

4. 指定した画像の顔分析が行われ、[フェイス タグ] ウィンドウに結果が表示されます。

## フェイス タグを管理する

顔の分析が完了すると、[フェイス タグ] ウィンドウに顔のグループ分けがされます。顔写真を一枚一枚確認して、すでに登録した人から選択するか、新しい人を追加します。スキップして後から追加することもできます。



**注:**ドロップダウンを使って、名前またはタグ数でフェイス タグを並べ替えます。

個人のフェイス タグを管理するには、次のいずれかを行います。

- **[選択]** をクリックして、一覧からその人の名前を選択します。

- メディア ライブラリーでフェイス タグを付けたことがない人は、**[選択]** をクリックして **[新しい人の追加]** に名前を入力します。その人の名前を入力して、**[OK]** を選択して人物を追加し、フェイス タグを付けます。
- タグ付けする人が **[提案]** リストにある場合は、その人の名前のボタンを選択します。
- タグ付けを無視するには **[スキップ]** を選択します。

## 手動でフェイス タグを付ける

自動スキャンがうまくできなかった場合は、手動でもフェイス タグを付けることができます。手動でフェイス タグを付けるには、次の操作を行います。

1. メディア ライブラリーの画像を右クリックして、**[編集]** を選択します。
2. 編集ウィンドウの **[フェイス タグ]** を選択します。
3. **[新規タグの作成]** を選択します。
4. 四角マークを顔のある場所にドラックします。
5. 必要に応じて四角のサイズを変更したら、**[不明]** を選択します。
6. 一覧から適応する名前を選択するか、**[新しい人の追加]** を選択してメディア ライブラリーに追加する名前を入力します。その人の名前を入力して、**[OK]** を選択して人物を追加し、フェイス タグを付けます。
7. 他の画像でも同じ操作を繰り返します。タグ付け処理が完了したら **[閉じる]** を選択します。**[戻る]** を選択してメディア ウィンドウに戻ります。

## アルバムの作成および管理を行う

新しいアルバムを作成したり、既存のアルバムに画像を追加したりして、整理した画像は、スライドショーなどに利用することができます。

## アルバムに画像を追加する

画像をアルバムに整理して、スライドショーなどで使うことができます。アルバムに画像を追加するには、メディア ファイルを右クリックして **[アルバムに追加]** を選択します。ポップアップ メニューから、次のアルバムのいずれかを選択します。

- **お気に入りメディア**: お気に入りのメディア アルバムにメディア ファイルを追加します。メディアを再生中に  ボタンを選択して、このアルバムにメディアを追加することもできます。
- **新規アルバムの作成**: メディア ライブラリーに新しいアルバムを作成して、選択したメディアを追加します。
- **カスタム アルバム**: 作成したカスタム メニューがポップアップ メニューに表示されます。それを選択して、メディアをアルバムに追加します。

同じ操作を繰り返して、画像をアルバムに追加します。

## 新しいアルバムを作成する

メディア ライブラリーに新しいアルバムを追加するには、次の操作を行います。

1. [アルバム] セクションの **[新規アルバムの作成]** を選択するか、ライブラリーの画像を右クリックして、**[アルバムに追加] > [新規アルバムの作成]** を選択します。
2. [アルバム情報] ウィンドウには、次の情報を入力します。
  - **名前**: アルバム名を入力します。
  - **日付**: アルバムの日付 (メディア撮影日またはアルバム作成日) を入力します。
  - **撮影場所**: メディアの撮影場所を入力します。
  - **説明**: このアルバムの説明を入力します。

3. **[OK]** を選択します。カスタム アルバムがメディア ライブラリーに保存されます。

## 画像の編集と印刷

CyberLink MediaShow を使って、画像の補正、微調整、エフェクトを適用することができます。編集が完了したら、様々なサイズで印刷することができます。

CyberLink MediaShow の編集、印刷機能にアクセスするには、CyberLink PowerStarter の **[画像]** メニューから **[画像の編集と印刷]** を選択します。CyberLink MediaShow のメイン ウィンドウが表示されます。

## 画像を編集する

CyberLink MediaShow には、スライドショーや印刷等向けに画像にエフェクトを追加したり、修正したり、様々な編集機能があります。

画像を補正するには、次の操作を行います。



**注:** 画像に加えた修正は簡単に元に戻すことができます。メディア ウィンドウのアイテムを右クリックして、**[変更を元に戻す]** を選択します。  をクリックして、**[画像の編集 - ログ]** を使って、特定の変更内容に戻します。

1. メディア ライブラリーから編集する画像をすべて選択し、メディア トレイにドラッグ&ドロップします。
2. **[編集]** ボタンから **[メディアの編集]** を選択します。**[編集]** ウィンドウが開きます。



**注:** メディア ライブラリーから複数の画像を選択し、右クリックして **[編集]** を選択し、**[編集]** ウィンドウにアクセスすることもできます。

画像を編集中に  ボタンを選択すると、編集前と編集後の状態が表示されます。

## 画像の補正を行う

CyberLink MediaShow は、自動補正、赤目補正、画像トリミング機能など、画像を素早く補正するツールを搭載しています。

[編集] ウィンドウから  タブを選択して、画像に次の補正を行います。

- **トリミング**:画像の不要な部分を切り取ります。**[固定率]** を選択して指定サイズで画像をトリミングします。または **[なし]** を選択して、手動でトリミング部分を選択します。画像にマウスをドラッグして、トリミングする部分を設定し、**[適用]** を選択してトリミングを行います。



**注:****[反転]** を選択して、補正部分のサイズを反転します(例: 「5 X 7」の場合は、「7 X 5」に変更)。

- **赤目**:画像の赤目を補正します。インターフェイスの手順に従って操作を行います。
- **傾きの調整**:傾いている画像を **[角度]** スライダーを使って水平に補正します。
- **明るさ自動調整**:画像の明るさを自動調整します。
- **コントラスト自動調整**:画像のコントラストを自動調整します。
- **バランス自動調整**:画像の色バランスを自動調整します。
- **明暗自動補正**:画像の明暗を自動補正します。

**[閉じる]** を選択して変更内容を保存します。**[戻る]** を選択してメインのメディアアウィンドウに戻ります。

## 画像の微調整を行う

画像の [輝度]、[コントラスト]、[彩度]、[ホワイトバランス]、[シャープネス] を手動で調整するには、[編集] ウィンドウの [微調整] 機能を使用します。



タブを選択し、スライダーを使って画像のプロパティーを調整します。

[閉じる] を選択して変更内容を保存します。[戻る] を選択してメインのメディア ウィンドウに戻ります。

## 画像エフェクトを追加する

画像にディスプレイおよびカラー エフェクトを追加することができます。  タブを選択して、次のエフェクトをメディア ライブラリーの画像に適用します。

- **白黒**: 画像を白黒に変換します。
- **セピア**: 濃い灰褐色を加えて月日の経過した古い写真のような効果を加えます。
- **マット**: 画像にホワイト マット効果を追加します。フォーカスをクリックし、適用エリアにドラッグして、スライダーでサイズを設定します。
- **周辺光量**: フォーカスをクリックして、スライダーで [サイズ] を設定します。
- **ソフト フォーカス**: フォーカスをクリックして、[サイズ] スライダーでフォーカス エリアを調整し、[ソフト] スライダーでぼかし量を調整します。
- **白黒フォーカス**: フォーカス部分をカラーで、その他の部分を白黒で表示します。フォーカスをクリックして、スライダーでカラー部分の [サイズ] を設定します。
- **色かぶり**: 画像に新しい色を追加します。好きな色を選び、スライダーを使って [強度] を調整します。

- **グロー**:画像の明るい部分全体に光沢を追加します。
- **アンティーク**:50 年前に撮影した古い写真のようにします。

**[閉じる]** を選択して変更内容を保存します。**[戻る]** を選択してメインのメディア ウィンドウに戻ります。

## 画像の印刷

画像をさまざまな大きさに印刷することができます。

画像をプリントするには、次の操作を行います。

1. メディア ライブラリーから印刷する画像をすべて選択し、メディア トレイ にドラッグ&ドロップします。
2. **[印刷]** ボタンから **[印刷]** を選択します。
3. 印刷オプションを次のように設定します。
  - **レイアウト**:画像を印刷するレイアウトをします。各種サイズから選べます。また、複数の画像を 1 枚の紙に印刷することもできます。
  - **プリンター**:画像を印刷するプリンターをドロップ ダウン メニューから選択します。
  - **フィット**:印刷範囲に合わせて画像のサイズを縮小するか、画像をクロップするかを選択します。
  - **プリンターの設定**:このボタンを選択して、ページ レイアウトや両面印刷の指定など、特定のプリンター オプションを設定します。オプションは接続しているプリンターによって異なります。
  - **各画像の印刷枚数**:印刷枚数を入力します。
4. **[印刷]** ボタンを選択して、画像の印刷を開始します。

# スライドショーの作成、再生

CyberLink MediaShow を使うと、メディア ライブラリーの画像でスライドショーで再生したり、カスタム スライドショーを作成することができます。

スライドショーを作成、再生するには、CyberLink PowerStarter の **[画像]** メニューから **[スライドショーの作成、再生]** を選択します。CyberLink MediaShow のメイン ウィンドウが表示されます。

## スライドショーを再生する

CyberLink MediaShow のライブラリーから、スライドショーを簡単に再生することができます。フォト スライドショーを再生するには、次の操作を行います。

1. メディア ライブラリーからスライドショーに使う画像をすべて選択し、メディア トレイにドラッグ&ドロップします。
2.  ボタンをクリックします。スライドショーは自動的に再生されます。
3. スライドショーを再生時に利用可能なコントロールは次の通りです。

## スライドショーを作成する

CyberLink MediaShow を使って、画像および動画を含むカスタム スライドショーを作成することができます。スタイルを選択したり、BGM、テキスト、空白のスライドを追加することもできます。

スライドショーの作成が完了したら、**[プレビュー]** ボタンを選択して再生します。動画ファイルとして保存する場合は、**[出力]** を選択します。**[共有]** ボタンを選択して、スライドショー ビデオを友達や家族と共有することができます。

## スライドショーのメディアを選択する

カスタム スライドショーのメディアを選択するには、次の操作を行います。

1. メディア ライブラリーからスライドショーに使うメディアをすべて選択し、メディア トレイにドラッグ&ドロップします。
2. **[作成]** ボタンから **[スライドショー]** を選択します。[スライドショーの作成] ウィンドウが開き、選択したメディアがスライド トレイに表示されます。

スライド トレイのボタンでは、次の操作ができます。

- スライドショーに他のメディアを追加するには、 ボタンを選択して、メディア ライブラリーから選択します。選択したら、**[選択したメディアの追加]** を選択します。**[閉じる]** を選択して、[スライドショーの作成] ウィンドウに戻ります。
- スライドショーに空白のスライドやカラー ボードを追加するには、 ボタンを選択します。色を選択して **[カラー ボードの追加]** ボタンをクリックして、スライドショーの現在の位置に新しいスライドを追加します。完了したら、**[完了]** を選択します。
-  を選択して、メディア ファイルを左に 90度回転します。 を選択して、画像を右に 90度回転します。
- スライドを並べ替えるには、スライド トレイのメディアを選択して、希望の位置にドラッグします。



- スライドショーからメディアまたはスライドを削除するには、スライド トレイから選択して  ボタンを選択します。

## スライドショーをデザインする

スライドショーにメディアを追加したら、スタイルを編集したり、BGM を追加して、デザインをカスタマイズすることができます。

スライドショーをデザインするには、次の操作を行います。

1. [スライドショーの作成] ウィンドウの **[デザイン]** ボタンを選択します。
2. オプションを次のように編集します。
  - **スライドショー スタイル:**スライド間のトランジションを選択します。スライド間にトランジションを入れない場合は、**[エフェクトなし]** を選択します。



**注:**各スライド間のトランジションをカスタマイズすることもできます。詳細は、[「スライドをカスタマイズする」](#) を参照してください。

- **縦横比:**スライドショーの縦横比を選択します。
- **表示時間:**各画像の表示時間を入力します。ただし、スライドショーに含まれるビデオ クリップの再生時間は変わりません。



**注:**各スライドの表示時間をカスタマイズすることもできます。詳細は、[「スライドをカスタマイズする」](#) を参照してください。

- **デフォルト テキストの設定:**スライドに新しいテキストを追加時に表示されるデフォルトのテキストを設定する場合に、このオプションを選択します。デフォルトで画像の説明またはファイル名のどちらかを使うことができます。
3. **[OK]** を選択して [デザイン] ウィンドウを閉じます。**[保存]** を選択して変更内容を保存します。

## スライドをカスタマイズする

[トランジション] ウィンドウでは、スライドショーの各スライド間のトランジションを設定したり、各スライドの表示時間をカスタマイズすることができます。スライドショー中のビデオ クリップの音声レベルを設定することもできます。

スライドをカスタマイズするには、次の操作を行います。

1. スライド トレイからカスタマイズするスライドを選択して、**[トランジション]** ボタンをクリックします。
2. [トランジション] ウィンドウは、次のように表示されます。
  - **表示時間**: 選択した画像またはカスタム スライドの表示時間を入力します。
  - **サウンド ミックス**: 選択したスライドにビデオ クリップが含まれる場合、スライダを使って、BGM と動画音声のミキシング レベルを設定します。動画音声をミュートする場合は、スライダを **[BGM]** 側にドラッグします。
  - **トランジション**: 選択したスライドの始めに使われるトランジションを選択します。
3. **[OK]** を選択して [トランジション] ウィンドウを閉じます。**[保存]** を選択して変更内容を保存します。

## スライドにタイトル テキストを追加する

スライドショーのスライドにタイトル テキストを追加することができます (メディア、ブランク スライド、タイトル スライド上に追加可能)。

スライドにテキストを追加するには、次の操作を行います。

1. スライド トレイからテキストを追加するスライドを選択して、**[テキストの追加]** ボタンをクリックします。

2. スライドに表示されるタイトル テキストをクリックして、デフォルトのテキストを変更します。
3.  を選択して、タイトル テキスト フォントのプロパティー (スタイル、色、サイズ) を変更します。
4. タイトル テキスト ボックスをクリックして、スライドの位置を変更します。
5.  を選択して、テキスト アニメーション エフェクトを追加します。
6.  を選択して、スライドのテキストをプレビューします。完了したら、テキスト ボックスの外側をクリックしてテキストをセットします。  
 **注:**既存のテキストを編集するには、タイトル テキスト ボックスをダブルクリックします。不要なテキストは、 で削除します。
7. 同じスライドまたは他のスライドに他のテキストを追加する場合、**[テキストの追加]** ボタンを選択して、同じ手順を繰り返します。
8. **[保存]** を選択して、スライドショーの変更内容を保存します。

## 音楽を追加する

スライドショーに BGM を追加することができます。BGM を追加するには、次の操作を行います。

1. [スライドショーの作成] ウィンドウの **[音楽]** ボタンを選択します。
2. スライドショーに BGM を追加するには、次の操作を行います。
  - **スライドショーで音楽を再生する:**このオプションを選択すると、スライドショーの再生時に BGM を追加できます。
  - **スライドショーの長さを音楽に合わせる:**このオプションを選択すると、選択した音楽の長さに合わせてスライドショーを表示します。



**注:**このオプションを選択すると、他の時間設定は適用されません。

- **BGM に使うフォルダー/音声ファイルを選択:**[参照] ボタンを選択して、スライドショーの BGM として使われる音声ファイル (WMA または MP3 形式) を選択します。複数の音楽ファイルが含まれるフォルダーを選択することもできます。
  - **BGM の選択・変更:**スライドショーの BGM をカスタマイズする場合に、このオプションを選択します。  ボタンから、BGM のプレイリストに入れる個々の音楽を追加します。  および  ボタンで再生順序を設定し、  ボタンで音楽をプレビューします。
3. **[OK]** を選択して [音楽の追加] ウィンドウを閉じます。**[保存]** を選択して変更内容を保存します。

## フォト ギャラリー ディスクの作成

1 枚のフォト ギャラリー ディスクに 1 つ以上のアルバムを作成することができます。

フォト ギャラリー ディスクを作成、書き込むには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter の **[画像]** メニューから **[フォト ギャラリー ディスクの作成]** を選択し、作成するディスクのタイプ (**[CD]**、**[DVD]**、**[ブルーレイ ディスク]**) を選択します。**[フォト ギャラリー ディスク]** ウィンドウが開きます。
2. **[ディスクの内容]** ペインで、必要に応じてディスクに表示されるフォト アルバムの名前を入力します。
3. 検索ペインを使って、ディスクに含める画像を検索します。読み取り元の画像を選択して、ディスク コンテンツ エリアにドラッグ&ドロップします ( ボタンをクリックすると、サムネイル表示になり、画像が検索しやすくなります)。



**注:**  ボタンをクリックして、画像を追加することもできます。画像を追加する前に、[ディスクの内容] ペインで特定のアルバムを選択してください。

4. アルバムに他の画像を追加するには、前の 2 つの手順を繰り返します。  ボタンをクリックして、ディスクに新しいアルバムを作成することもできます。
5. **[編集]** ボタンをクリックして、フォト ギャラリー ディスクを次のように設定します。
  - **ギャラリー タイトル:** フォト ギャラリーのタイトルを入力します。タイトルは、書き込み後にディスク上に表示されます。
  - **カスタム ロゴ:** **[カスタム ロゴ]** ボタンをクリックして、フォト ギャラリーで使うロゴを次のようにカスタマイズします。
    - **フォト ギャラリーにロゴを追加しない:** 作成するフォト ギャラリーにロゴを追加しない場合に、このオプションを選択します。
    - **フォト ギャラリーにロゴを追加する:** 作成するフォト ギャラリーにロゴを追加する場合に、このオプションを選択します。  ボタンをクリックして、ロゴとして使用する画像を選択します (CyberLink のロゴと置き換えられます)。
    - **ロゴに URL リンクを追加する:** ロゴに URL リンクを追加する場合に、このオプションを選択します。選択したら、URL のアドレスを入力します (<http://>)。フォト ギャラリーのロゴをクリックすると、指定した URL に移動します。
  - **[OK]** をクリックして、変更内容を保存します。
  - **スライドショー速度:** スライドショーの各スライドの表示時間 (秒) を入力します。
  - **背景画像:** **[変更]** ボタンをクリックして、フォト ギャラリーの背景に使われる画像を設定します。デフォルトの画像にギャラリー ディスクに合ったも

がない場合、**[参照]** ボタンをクリックして、自分のカスタム画像を使用します。

- **EXIF 情報を表示する:** フォト ギャラリー ディスクに画像の詳細を表示するには、このオプションを選択します (EXIF 対応のデジタル カメラで撮影した場合)。
  - **BGM を追加する:** フォト ギャラリー ディスクに BGM を追加するには、このオプションを選択し、**[参照]** をクリックして使用する音楽ファイルを選択します。
  - **エディターズ ノートを含める:** フォト ギャラリー ディスクにメモや説明を入れるには、このオプションを選択し、**[編集]** をクリックして、**[タイトル]** および **[コンテンツ]** を入力します。
  - **外部 URL を含める:** フォト ギャラリー ディスクに Web サイトのリンクを入れるには、このオプションを選択し、**[編集]** をクリックして、Web サイトの **[名前]** および URL (**http://**) を入力します。
  - フォト ギャラリーの完成内容を表示するには、**[プレビュー]** ボタンをクリックします。**[書き出し]** をクリックすると、ハード ドライブにスタンドアロンのフォト ギャラリー アプリケーション (フォルダー) が作成されます。
6. ディスクに入れる画像をすべて追加したら、**[次へ]** ボタンをクリックします。
  7. 必要に応じて、**[全般]** および **[オプション]** タブの設定を調整します (詳細は、「Power2Go の設定」の関連セクションを参照)。
  8. ディスクへの書き込みの準備ができれば、**[書き込み]** をクリックします。



**注:**書き込み後にコンピューターを自動的にシャットダウンする場合は、**[書き込み後、自動的にシャットダウンする]** オプションを選択します。

9. 書き込みが完了したら、ウィンドウ ボックスに表示されるオプションのうちいずれかを選択します。

- **[ログの表示]** をクリックして、書き込みログを表示します。デフォルトのテキスト エディター (ログの表示および保存が可能) に、ログが表示されます。
- **[OK]** をクリックして、ウィンドウを閉じて終了します。

## スライドショー ディスクの作成

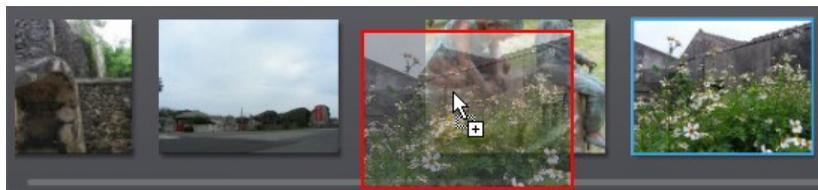
CyberLink MediaShow を使って、画像を含むプロ級のスライドショーを作成することができます。

スライドショー DVD ディスクを作成するには、CyberLink PowerStarter の **[画像]** メニューから **[スライドショー ディスクの作成]** を選択します。CyberLink MediaShow のメイン ウィンドウが表示されます。

### ディスクに入れる画像を選択する

スライドショー ディスクに入れる画像を選択するには、次の操作を行います。

1. メディア ライブラリーからスライドショー ディスクに含める画像をすべて選択し、メディア トレイにドラッグ&ドロップします。
2. **[作成]** ボタンから **[ムービー ディスク]** を選択します。[ムービー ディスクの作成] ウィンドウが開き、選択した画像がトレイに表示されます。
3. トレイのボタンでは、次の操作ができます。
  - 他の画像を追加するには、**[画像]** タブを選択して  ボタンを選択します。メディア ライブラリーから画像を選択して、**[選択したメディアの追加]** を選択します。**[閉じる]** を選択して、[ムービー ディスクの作成] ウィンドウに戻ります。
  - ディスクのメディアを並べ替えるには、トレイのメディアを選択して、希望の位置にドラッグします。



- ディスクからメディアを削除するには、トレイから選択して  ボタンを選択します。

## ディスクを作成する

[ムービー ディスクの作成] ウィンドウでは、次のようにディスクのプロパティを設定します。

1. **手順 1:ディスク形式の選択** セクションで、次を選択します。
  - **形式:**ムービー ディスクの形式を選択します。 **DVD:**標準の DVD ディスクを作成します。
  - **ターゲット ドライブ:**ムービー ディスクの書き込みに使用するドライブを選択します。
2. **手順 2:ムービー ディスク タイトルの入力** に、ディスク メニューのホームページに表示されるムービー ディスクの **タイトル** を入力します。
3. **手順 3:メニュー テンプレートの選択** で、ディスクに使うディスク メニュー テンプレートを選択します。[**メニューなし**] を選択すると、ディスクをディスク プレーヤーに挿入するとディスク中の動画が自動的に再生されます。



**注:**[**ダウンロード**] を選択して、DirectorZone からその他のディスク メニュー テンプレートをダウンロードすることもできます。ダウンロードが完了したら、 をクリックしてメニュー テンプレートを CyberLink MediaShow にインポートします。

4. [**保存**] を選択して、スライドショー ディスクの変更内容を保存します。

# スライドショーのスタイルと音楽を編集する

ディスクに入っている画像は、スライドショーで再生されます。ディスクに画像を書き込む前に、スライドショーのスタイルと音楽を編集することができます。

スライドショーのスタイルと音楽を編集するには、次の操作を行います。

1. **[画像]** タブを選択し  を選択して、[スタイルと音楽] ウィンドウを開きます。
2. **[スライドショー スタイル]** を次のように設定します。
  - **スタイル:**スライドショーのスタイルを選択します - **フェーディング:**スライドショーに使われる画像にフェードイン/フェードアウト効果を追加します。 **モーション:**パン/ズーム効果を追加して動きのあるスライドショーを作成します。 **セル:**クレジット (文字) を入力して、ムービーのようなスライドショーを作成します。BGM を付ける場合、 **マジック スライドショー** 技術により、音楽のビートに合わせて画像を動的に表示します。
  - **スライドショーのオープニングを変更:**[セル] スライドショーを選択した場合に、このボタンをクリックして、スライドショー オープニング ページ用のタイトルと作成者を入力します。スライドショーに入れない場合は、**[スライドショー オープニング ページを有効にする]** を選択解除します。
  - **速度:**スライドショーの速度を設定します。
3. **[BGM]** オプションを次のように設定します。
  - **スライドショーで音楽を再生する:**このオプションを選択すると、スライドショーの再生時に BGM を追加できます。
  - **スライドショーの長さを音楽に合わせる:**このオプションを選択すると、選択した音楽の長さに合わせてスライドショーを表示します。
  - **BGM に使うフォルダー/音声ファイルを選択:**[参照] ボタンを選択して、スライドショーの BGM として使われる音声ファイル (WMA または MP3 形

式) を選択します。複数の音楽ファイルが含まれるフォルダーを選択することもできます。

- **BGM の選択・変更:**スライドショーの BGM をカスタマイズする場合に、このオプションを選択します。  ボタンから、BGM のプレイリストに入れる個々の音楽を追加します。  および  ボタンで再生順序を設定し、  ボタンで音楽をプレビューします。

4. **[OK]** を選択して [スタイルと音楽] ウィンドウを閉じます。**[保存]** を選択して変更内容を保存します。

## 設定詳細ディスク設定を行う

ディスクに書き込む前に、詳細ディスク設定を行うようお勧めします。

[ムービー ディスクの作成] ウィンドウから **[詳細]** ボタンを選択し、次の手順で設定を行います。

### ディスクの選択

- **テレビ信号方式:**ディスクに書き込む動画の テレビ信号方式 ([NTSC] または [PAL]) を選択します。ディスクを再生する地域の形式と一致させる必要があります。
- **動画形式:**ディスクに書き込む動画の形式を選択します。 **MPEG-2:**大半の DVD ディスクの標準規格で、小容量で記録できます。
- **音声形式:**ディスクに出力する音声形式を選択します。
- **縦横比:**動画の縦横比を選択します。DVD は [4:3] または [16:9] から選択できます。
- **画質:**動画の画質を選択します。画質の設定ごとに異なるビットレートを使用するため、作成されるファイル サイズも異なります。画質が高いほどファイル サイズが大きくなるため、ディスクに収めることができる長さは短くなります。

- **ディスク容量:** 選択した光学ドライブ (書き込みドライブ) 内のディスクの空き容量を表示します。

### 基本設定

- **プレビュー ウィンドウに TV セーフ ゾーンを表示する:** このオプションを選択すると、ディスクの表示領域 (ほとんどのテレビ画面に適応) を表示します。メニュー アイテムを画面内に収めたい場合にこの機能を使うと便利です。
- **自動メニュー タイムアウト:** このオプションを選択すると、短時間メニューを表示した後、自動的に動画の再生が始まります。

## ディスクに書き込む

最後に、**[書き込み]** ボタンをクリックして、メディアのディスクへの書き込みを開始します。書き込む前に、**[プレビュー]** ボタンをクリックして、作成内容を確認します。

## 画像のキャプチャー

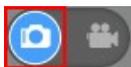
YouCam\* を使って、Web カメラ映像のスナップショットや連続撮影機能を使うことができます。



**注:** \* CyberLink Media Suite のオプション機能です。バージョンの詳細については、「バージョン表」を参照してください。

CyberLink YouCam を使って画像をキャプチャーするには、**[画像]** メニューから、**[画像のキャプチャー]** を選択します。CyberLink YouCam のメイン ウィンドウが表示されます。

スナップショットを取得するには、キャプチャー コントロールのスナップショット オプションを選択します。



## スナップショットを取得する

現フレームのスナップショットを取得するには、次の操作を行います。

1. キャプチャー コントロールの  ボタンをクリックします。



**注:**キャプチャー ボタンを選択する前に、スナップショットにエフェクトを追加することができます。

2. 写真が取得されるとキャプチャー コンテンツ エリアに配置され、キャプチャー フォルダーに保存されます。



**注:**キャプチャーしたスナップショットを右クリックして、**[ファイル保存先]**を選択すると、ファイルの保存先が表示されます。

## 連続写真を取得する

連続撮影機能で一連の写真を取得するには、次の操作を行います。



**注:**連続撮影の枚数に関する詳細は、「キャプチャー&スナップショットの設定」の「**スナップショット連続撮影**」を参照してください。

1. Web カメラ プレビュー ウィンドウ下の  ボタンをクリックして、**[連続撮影]**を選択します。

2. キャプチャー コントロールの  ボタンをクリックします。



**注:**キャプチャー ボタンを選択する前に、連続撮影写真にエフェクトを追加することができます。

3. スナップショットが取得されるとキャプチャー コンテンツ エリアに配置され、キャプチャー フォルダーに保存されます。



**注:**キャプチャーしたスナップショットを右クリックして、**[ファイル保存先]**を選択すると、ファイルの保存先が表示されます。

## 高度な画像調整

CyberLink PhotoDirector を使って、画像に高度な調整を加えることができます。コントロールを使って、画像のホワイトバランス、色調を変更したり、色を微調整します。様々な調整プリセットから選択して、クイック調整も可能です。

CyberLink PhotoDirector で画像を調整するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter の **[画像]** メニューから、**[高度な画像調整]** を選択します。CyberLink PhotoDirector が起動します。
2. 必要に応じて **[ライブラリー]** をクリックし、ライブラリー パネル下の **[インポート]** ボタンをクリックします。
3. 次の読み込みオプションからいずれかを選択します。

- **画像:**個々の画像ファイルを読み込みます。コンピューター/リムーバブル デバイスから読み込む画像をすべて選択し、**[開く]** をクリックします。[画像の読み込み] ウィンドウに、すべての画像がサムネイルで表示されます。



**注:**読み込みたい画像ファイルがフォルダーに表示されない場合、[画像の選択] ウィンドウ右下のドロップダウンから適切なファイル形式を選択します。

- **フォルダー:**画像が含まれるフォルダーを読み込みます。コンピューター/リムーバブル デバイスから読み込むフォルダーを選択し、**[フォルダーの選択]** をクリックします。[画像の読み込み] ウィンドウに、選択したフォルダー中の全画像がサムネイルで表示されます。
- **カメラから:**デジタル カメラまたはカード リーダーから直接画像を読み込みます。カメラをコンピューターに接続し (電源をオン)、**[カメラから]** を選択して画像を読み込みます。[画像の読み込み] ウィンドウが表示されます。**[ソース]** のドロップダウンからカメラ (またはカード リーダー) を選択します。[画像の読み込み] ウィンドウに、すべての画像がサムネイルで表示されます。



**注:**プレビュー ウィンドウ右下の  を使って、サムネイルのサイズを変更します。

4. フォルダー、デバイス、デジタル カメラから画像を読み込み時に **[サブフォルダーを含める]** を選択すると、サブフォルダー中の画像が表示、読み込まれます。
5. 読み込み済みの画像をフィルターするには、**[重複の可能性のあるものを除く]** を選択します。
6. 手動で読み込む画像を選択するか、 (すべて選択解除) または  (すべて選択) を使用します。



7. 次の 2 つの読み込みオプションからいずれかを選択します。
  - **現在の位置に保持**:元の場所に保持します。
  - **コピー作成先:[出力先]** で選択した場所に画像のコピーを入れる場合に、このオプションを選択します。
8. 画像のコピーを別のフォルダーに入れる場合、 を選択して、**[インポート先]** を選択します。 をクリックして、この場所の画像フォルダーの名前を編集することもできます。
9. 画像のコピーを別の場所に入れる場合、**[整理]** のドロップダウンから次の整理方法を選択します。
  - **1つのフォルダーに入れる**:すべての画像を 1 つのフォルダーに入れます。
  - **元のフォルダー構造**:元の場所から元のフォルダー構造をコピーします。

- **取り込み日**:取り込み日毎にフォルダーを作成します。 をクリックして、フォルダー名の日付形式を設定します。
10. **【読み込み】** をクリックします。画像はプロジェクト ライブラリーに読み込まれます。



**注:**CyberLink PhotoDirector のウィンドウに画像をドラッグ&ドロップして、プログラムにインポートすることもできます。

11. 必要に応じて、インポートした画像を調整します。



**注:**CyberLink PhotoDirector の動画調整に関する詳細は、ヘルプ ファイルを参照してください ([F1] キーを押す)。

## 第 5 章:

# 音楽

[音楽] メニューからは、CyberLink Power2Go を使って、音声ファイルを DVD や CD に書き込むことができます。オーディオ CD から音楽をハード ドライブに取り込んだり、CyberLink PowerDVD で再生することもできます。CyberLink WaveEditor を使って音声ファイルを編集したり、エフェクトを追加したり、カスタムの音声を録音することもできます。



**注:** コンピューターに音楽ファイルを書き込んだり、取り込むためにはコーデックが必要です。Windows Media Player 10 以降がインストールされていることを確認してください。

## 音楽の再生

CyberLink PowerDVD で音楽を再生するには、CyberLink PowerStarter の **[音楽]** メニューから **[音楽の再生]** 機能を選択します。CyberLink PowerDVD のメイン ウィンドウが表示されます。



**注:** 次の音楽ファイルの再生に関する説明は、PC モードのものになります。TV モードの再生に関する詳細は、TV モードのヘルプ ファイルをご覧ください。

音声を再生するには、次のいずれかを実行します。

- ディスク ドライブにオーディオ CD を挿入すると、再生が自動的に開始します。CyberLink PowerDVD を起動時に、すでにドライブにディスクが入っている場合は、メディア パネルの **[マイ コンピューター]** タブをクリックして、ディスク ドライブを検索、選択し、**[再生]** をクリックすると再生が開始されます。
- CyberLink PowerDVD のユーザー インターフェイスに、音声ファイルを直接ドラッグ&ドロップします。

- メディア ライブラリーの音声ファイルを再生するには、メディア パネルの **[音楽]** を選択して、音声を含むフォルダーを検索します。音声ファイルをダブルクリックすると、再生が開始します。
- ハード ドライブ中の音声ファイルを再生するには、メディア パネルの **[マイ コンピューター]** タブをクリックして、音声ファイルを含むフォルダーを検索します。音声ファイルをダブルクリックすると、再生が開始します。



**注:**再生コントロールのリストは、[「音楽の再生コントロール」](#)を参照してください。

## 対応する音声形式

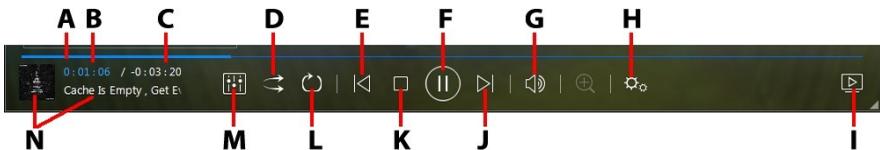
CyberLink PowerDVD が対応する音声形式は、次の通りです。

光学ディスクの種類	ファイル形式
CD	音声、カラオケ

**音声ファイル形式:** AAC, AC3, ADTS, AOB, APE, DTS, FLAC, M4A, MID, MKA, MP2, MP3, MPA, OGG, RMI, WAV, WMA。

## 音楽の再生コントロール

[音楽] タブで音楽を再生中に、再生コントロールは次のように表示されます。



**注:**次の表には、再生コントロール上の特定ボタンのホットキーも含まれます。PowerDVD のすべてのホットキーと動作に関する詳細は、プログラムのヘルプ ファイルの「ホットキー表」を参照してください。

	アイコン	ボタン	ホット キー	説明
A		ナビゲーション スライダー		再生経過時間を表示します。ナビゲーション スライダーをクリックすると、曲の他のシーン (時間) に移動します。
B		経過時間		現在の曲の経過時間が表示されます。マウスを上に乗けると 2 つのボタンが表示され、前後にジャンプすることができます。  をクリックすると 8 秒戻り、  をクリックすると 30 秒早送りします。
C		曲再生時間/残り時間		曲の再生時間と残り時間を切り替えます。
D		シャッフル	V	フォルダー、プレイリスト、ディスクの曲をランダムに再生します。

E		前へ	P	フォルダー、プレイリスト、ディスクの前の曲に戻ります。
F		再生 / 一時停止	スペースバ ー	音楽を再生/一時停止します。
G		ミュート/音量調整	Q / + およ び -	音量をミュート/ミュート オフします。手動で音量を調整します。このボタンの上にマウスを置いて、スライダーを使って音量を調整します。
H		PowerDVD 設定メニュー		PowerDVD の設定メニュー (プレーヤー設定、PowerDVD の環境設定にアクセス) を開きます。
I		再生先		メディア ライブラリー中の音楽を選択し、このボタンをクリックして他のデバイスまたはディスプレイで再生します。
J		次へ	N	フォルダー、プレイリスト、ディス

				クの次の曲に進みます。
K		停止	S	音楽の再生を停止します。
L		リピート	Ctrl+R	フォルダー/プレイリスト中の 1 曲  またはすべての曲  をリピート再生します。ボタンが  のように表示される場合、リピート機能はオフになっています。
M		オーディオ イコライザー		音楽を再生中にこのボタンをクリックすると、 <a href="#">[オーディオイコライザー]</a> プリセットにアクセスします。
N		曲情報		再生中の音楽のアルバム アートおよび情報を表示します。音楽を再生時に、他のタブでメディアを閲覧中に曲情報をダブル

				<p>クリックすると、 [メディア ライブラリー] の [音楽] セクションに戻ります。</p>
--	--	--	--	--

## オーディオ イコライザーを使用する

音楽を再生中に  をクリックして [オーディオ イコライザー] を選択すると、イコライザーとオーディオ プリセットにアクセスして、音声を補正することができます。



[プリセット] のドロップダウンからプリセットを選択して、音声を変更します。選択するプリセットは、再生中の音声の種類または音楽のジャンルによって異なります。イコライザーのスライダーを手動で調整して、出力音声をカスタマイズすることもできます。スライダーを調整したら、[保存] ボタンをクリックします。[カスタムプリセット 1]、[2]、[3] のオプションを使って、カスタムのプリセットを3つまで保存できます。

## オーディオ CD の取り込み

[音声の取り込み] 機能を使うと、オーディオ CD のオーディオトラックを APE\*、FLAC\*、M4A\* (AAC)、MP3、WAV、WMA 形式でハード ドライブにコピーすることができます。



**注:**\* この機能は、CyberLink Power2Go の一部のバージョンではご利用いただけません。

音声ファイルをハード ドライブに取り込むには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter の **[音楽]** メニューから、**[オーディオ CD の取り込み]** を選択します。CyberLink Power2Go の音声取り込みウィンドウが開きます。

2. ディスクを挿入して、**[出力元]** ドロップダウンからドライブを選択します。



**注:**新しいディスクを挿入したり、別のドライブに変更する場合は、 をクリックして、最新情報が表示されていることを確認してください。

3. ハード ドライブにコピーする音声トラックを選択します。
4.  ボタンをクリックして、音声トラックの書き込み先フォルダーを指定します。
5. **[設定]** セクションで、出力する音声ファイルの **[形式]** および **[品質]** を設定します。
6. **[実行]** をクリックして、ファイルを取り込んでコンピューターにコピーします。

## 音声ファイルの変換

CyberLink Power2Go の[オーディオ コンバーター] ユーティリティを使うと、音声ファイルを次の音声形式のいずれかに変換することができます。APE\*、FLAC\*、M4A\* (AAC)、MP3、WAV、WMA。



**注:**\* この機能は、CyberLink Power2Go の一部のバージョンではご利用いただけません。

音声ファイルを変換するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter の **[音楽]** メニューから、**[音声ファイルの変換]** を選択します。CyberLink Power2Go の [オーディオ コンバーター] ウィンドウが開きます。
2.  をクリックして、変換元のファイルを選択します。**[開く]** をクリックして、[オーディオ ファイル コンバーター] ウィンドウにファイルを追加します。
3.  ボタンをクリックして、変換する音声ファイルの書き込み先を指定します。
4. **[設定]** セクションで、変換するファイルの **[形式]** および **[品質]** を設定します。
5. **[実行]** をクリックして、音声ファイルを変換してコンピューターに保存します。

## ミュージック ディスクの書き込み

CyberLink Power2Go を使用すると、音楽ディスクが簡単に作成できます。通常の CD プレーヤーで再生できる音楽 CD や、MP3 や WMA ファイルを含む DVD や CD も作成できます。

オーディオ ミュージック CD または MP3/WMA ミュージック ディスクを書き込むには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter の **[音楽]** メニューから、**[ミュージック ディスクの書き込み]** を選択します。CyberLink Power2Go の新規タスク ウィンドウで、作成するディスクのタイプ (**[オーディオ CD]**、**[WMA CD]**、**[MP3\* CD]**、**[WMA DVD]**、**[MP3\* DVD]**) を選択します。

2. 検索ペインを使って、ディスクに含める音楽を検索します。



**注:**ミュージック ディスクを作成前に Power2Go のライブラリーを設定することをお勧めします。ライブラリーに音楽ファイルを入れると、検索ペインの [メディア] タブに表示され、検索フィールドから検索可能になります。

3. 書き込みを行うファイルを選択して、コンテンツ エリアにドラッグ&ドロップします。



**注:**  ボタンをクリックして音楽ファイルを追加したり、他のボタンをクリックしてディスク中の音楽の順番を変更したり、プレビューすることもできます。ビデオ クリップから音声を抽出してミュージック ディスクに入れるには、ビデオ クリップをディスクに追加します。

4. 音楽ファイルを編集したりエフェクトを追加するには  ボタンをクリックして、CyberLink WaveEditor\* を起動します。音声の編集に関する詳細は、CyberLink WaveEditor のヘルプ ファイルを参照してください。音声ファイルの編集が完了したら、更新されたファイルはコンテンツ エリアに再び配置されます。
  5. 必要に応じて **[編集]** ボタンをクリックして、ディスクの音声を設定したり、CD-TEXT を追加したりすることができます。
  6. ディスクに入れるコンテンツをすべて追加したら、**[次へ]** ボタンをクリックします。
  7. 必要に応じて、**[全般]** および **[オプション]** タブの設定を調整します (詳細は、「Power2Go の設定」の関連セクションを参照)。
  8. ディスクへの書き込みの準備ができたなら、**[書き込み]** をクリックします。
- A yellow sticky note with the word 'note' written on it and a yellow pencil resting on the bottom right corner.
- 注:**書き込み後にコンピューターを自動的にシャットダウンする場合は、**[書き込み後、自動的にシャットダウンする]** オプションを選択します。
9. 書き込みが完了したら、ウィンドウに表示されるオプションのうちいずれかを選択します。

- **[ログの表示]** をクリックして、書き込みログを表示します。デフォルトのテキスト エディター (ログの表示および保存が可能) に、ログが表示されません。
- **[OK]** をクリックして、ウィンドウを閉じます。



**注:**\* この機能は、CyberLink Power2Go の一部のバージョンではご利用いただけません。

## 音声の録音

CyberLink WaveEditor では、カスタムの音声を WAV 形式で録音することができます。録音した音声は、ライブラリーに直接インポートされ、[環境設定] で指定するエクスポート フォルダーに保存されます。

音声を録音するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter の **[音楽]** メニューから、**[音声の録音]** を選択します。CyberLink WaveEditor の 録音ウィンドウ が表示されます。
2. 次のように録音の設定を行います。
  - スライダー コントロールで録音の入力音量を調整します。
  - 指定した時間で録音を自動的に停止させるには、**[時間制限]** をチェックして、希望の時間を入力します。
  - 指定したファイル サイズに到達時に録音を自動的に停止させるには、**[サイズ制限]** をチェックして、希望のサイズを入力します。
  - **[設定]** を選択して、[音声デバイス] および [音声入力] を指定します。
  - **[プロファイル]** を選択して、録音音質を設定します。
  - 開始時にフェードインするには、 または [開始時にフェードイン] を選択します。終了時にフェードアウトするには、 または [終了時にフェードアウト] を選択します。

3. 音声の録音を開始するには、 をクリックします。録音を停止して、CyberLink WaveEditor のライブラリーに録音したファイルを保存/インポートするには、 をクリックします。[閉じる] をクリックして、メインウィンドウに戻ります。

## 音声の編集

CyberLink WaveEditor を使うと、トリミング、切り取りなど、音声を編集して、動画編集やファイル共有の用途に活用することができます。

CyberLink WaveEditor で音声ファイルを編集するには、CyberLink PowerStarter ウィンドウの [音楽] メニューから、[音声の編集] を選択します。



**注:**このプログラムと機能に関する詳細は、製品のヘルプ ファイルを参照してください。

## 音声をライブラリーに追加する

ハード ドライブまたはリムーバブル デバイスから音声をインポートします。

## 音声をインポートする

ハード ドライブまたはリムーバブル デバイスから音声をインポートするには、 をクリックし、ファイルを指定して、[開く] をクリックします。複数の音声ファイルを一度にライブラリーにインポートすることもできます。



**注:**音声ファイルをライブラリー エリアにドラッグ&ドロップして、プログラムにインポートすることもできます。

## 対応する形式

CyberLink WaveEditor では、次の音声形式がインポート可能です。

音声: MP3, WAV, WMA, M4A\*, AC3\*\*



注:\* CyberLink WaveEditor の Standard バージョン、および LE バージョン (Windows 7 使用時) でのみご利用いただけます。\*\* CyberLink WaveEditor の LE バージョンではご利用いただけません。

## 音声を編集する

ライブラリーにすべての音声をインポートしたら、編集を開始します。音声ファイルをクロッピング、トリミングしたり、貼り付けたりすることができます。

音声ファイルを編集するには、次の操作を行います。

1. 編集する音声ファイルをライブラリーから選択します。
2. 編集するチャンネルを指定します (1 チャンネルまたは 2 チャンネル)。
3. 範囲の選択を使って、編集する部分を選択します。
4. 編集ツールの詳細は次の通りです。

編集ツール	
	音声ファイルの選択部分を切り取ります。
	選択部分をコピーします。
	切り取りまたはコピーした音声の波形を、現在のタイムラインの位置に貼り付けます。
	選択部分を削除します。
	選択部分をクロッピングします。選択されていない部分は削除されません。



**注:**音声ファイルを編集しても、元の音声ファイルは影響されません。編集を保存するには、音声ファイルをエクスポートする必要があります。詳細は、[「音声をエクスポートする」](#)を参照してください。

## 主音量を調整する

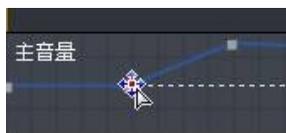
タイムラインの音声ファイルは、あらゆる位置で音量を調整することができます。任意の位置の音量を上げたり、下げたりすることができます。

音声ファイルの主音量を調整するには、次の操作を行います。

1. 再生コントロールを使うか、タイムライン スライダーをドラッグして、最大音量/ 最小音量の位置を指定します。
2. 主音量エリアのラインをクリックして、音量キーを希望する音量レベルにドラッグします。



3. 再生コントロールを使うか、タイムライン スライダーをドラッグして、音量レベルを変更する開始点を指定します。
4. 主音量エリアのラインをクリックして、ボリューム キーを元の音量レベルにドラッグします。



**注:**最後のステップは、最初から希望のレベルまで徐々に上げる/下げる場合には、必要ありません。

5. ボリューム キーを調整し、希望の音量レベルにします。



**注:**ボリューム キーを削除し元の値に戻すには、不要なキーを選択し、主音量エリア外にドラッグします。

## オーディオ エフェクト

CyberLink WaveEditor を使うと、音声ファイルに様々なデフォルトのエフェクトを適用することができます。ダウンロードしたカスタムの VST プラグイン エフェクトをインポートして、適用することもできます。

## デフォルト エフェクト

CyberLink WaveEditor には、使用頻度の高いデフォルトのエフェクトが搭載されています。さらに高度なオーディオ エフェクトを適用したい場合は、カスタムの VST プラグイン エフェクトをインポートすることもできます。



**注:**エフェクトをプレビューするには、エフェクト エリアから希望のエフェクトを選択し、**[プレビュー]** をチェックして、 ボタンをクリックします。

## エフェクトをインポートする

VST プラグイン エフェクトから、音声に適用するカスタム エフェクトを検索、追加することができます。VST プラグイン エフェクトをインターネットでダウンロードして、CyberLink WaveEditor に簡単にインポートすることができます。



**注:**CyberLink は、ダウンロードした VST プラグイン エフェクトの使用可能性および VST モジュールの品質を保証いたしません。

VST プラグイン エフェクトをダウンロードしたら、次のように CyberLink WaveEditor にインポートします。

1. メニューから、**[エフェクト] > [VST] > [VST エフェクトのインポート]** を選択します。

2.  ボタンをクリックして、ダウンロードされた VST プラグインエフェクトの保存先を検索します。



**注:**DLL 形式の VST プラグイン エフェクトをインポートします。ZIP 形式のエフェクトをダウンロードする場合は、読み込む前に、ファイルを解凍してください。

3. VST プラグイン エフェクトを選択したら、**[開く]** をクリックします。
4. **[OK]** をクリックして、エフェクトを CyberLink WaveEditor の VST セクションにインポートします。

## エフェクトを適用する

音声のエフェクトは、選択した範囲またはクリップ全体に適用することができます。音声ファイルにエフェクトを適用するには、次の操作を行います。

1. エフェクトを適用する音声ファイルをライブラリーから選択します。
2. エフェクトを適用するチャンネルを指定します (1 チャンネルまたは 2 チャンネル)。
3. 範囲の選択を使って、エフェクトを適用する部分を選択します。



**注:**範囲選択を行わないと、エフェクトはクリップ全体に適用されます。

4. 適用するエフェクトをクリックします。エフェクト ウィンドウが表示されます。
5. 好みに応じてエフェクト設定を調整します。
6. **[OK]** ボタンをクリックして、音声ファイルにエフェクトを適用します。

## 音声をエクスポートする

音声ファイルに適用した変更を保存すると、毎回新規のファイルに保存されます。実質的には、元のファイルをエクスポートして、新規バージョンとして保存

(新規のファイル形式で保存も可能) していることとなります。

新規のバージョンとして音声ファイルを保存およびエクスポートするには、次の操作を行います。

1. 保存/エクスポートする音声ファイルをライブラリーから選択して、 をクリックします。
2. [名前を付けて保存] で新規のファイル名を入力し、**[ファイルの種類]** ドロップダウンから、希望の形式を選択します。
3. **[保存]** をクリックします。ファイルは [環境設定] で指定されるエクスポート フォルダーに保存されます。

## 対応する形式

CyberLink WaveEditor では、次の音声形式がエクスポート可能です。

音声:MP3\*\*, WAV, WMA, M4A\*



**注:**\* CyberLink WaveEditor の Standard バージョン、および LE バージョン (Windows 7 使用時) でのみご利用いただけます。\*\* CyberLink WaveEditor の LE バージョンではご利用いただけません。

## 第 6 章:

# データ & バックアップ

CyberLink Power2Go を使うと、データ ファイルをブルーレイ ディスク、DVD、CD に書き込むことができます。また、DVD や CD をコピーしたり、ディスク マネージャーを使って書き込みを行ったコンテンツやディスクを記録したり管理することもできます。

CyberLink PowerBackup を使ってコンピューター中のデータをバックアップ & リストアしたり、CyberLink PowerDVD Copy を使って CSS のコピー プロテクトがかけられていない DVD ビデオ ディスクをコピーすることもできます。

## データ ディスクの作成

データ ファイルを CD、DVD、ブルーレイ ディスクに書き込むことができます。データ ファイルには、ほとんどのドキュメントまたはデジタル ファイル形式を含めることができます。

データ ディスクを書き込むには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter の **[データ&バックアップ]** メニューから **[データ ディスクの作成]** を選択し、作成するディスクのタイプ (**[CD]**、**[DVD]**、**[ブルーレイ ディスク]**) を選択します。CyberLink Power2Go の **[データ ディスク]** ウィンドウが開きます。
2. 検索ペインを使って、ディスクに含めるファイルを検索します。



**注:**データ ディスクを作成前に Power2Go のライブラリーを設定することをお勧めします。ライブラリーにデータ ファイルを入れると、検索フィールドにキーワードを入れることで検索可能になります。

3. 書き込みを行うファイルまたはフォルダーを選択して、コンテンツ エリアにドラッグ & ドロップします。



**注:**  ボタンをクリックしてデータ ファイルを追加したり、 ボタンをクリックしてディスクにフォルダーを作成することもできます。

4. 書き込むコンテンツをすべて追加したら、**[次へ]** ボタンをクリックします。
5. 必要に応じて、**[全般]** および **[オプション]** タブの設定を調整します (詳細は、「Power2Go の設定」の関連セクションを参照)。
6. ディスクへの書き込みの準備ができたなら、**[書き込み]** をクリックします。



**注:**書き込み後にコンピューターを自動的にシャットダウンする場合は、**[書き込み後、自動的にシャットダウンする]** オプションを選択します。

7. 書き込みが完了したら、ウィンドウに表示されるオプションのうちいずれかを選択します。
  - **[ログの表示]** をクリックして、書き込みログを表示します。デフォルトのテキスト エディター (ログの表示および保存が可能) に、ログが表示されません。
  - **[OK]** をクリックして、ウィンドウを閉じます。

## ディスク コピー、ディスク イメージの書き込み

**[ディスク コピー、ディスク イメージの書き込み]** では、ディスクのコピーを行うことができます。ただし、コピー元のディスク タイプと同じブランク ディスクを使用する必要があります。**[ディスク コピー]** では、ディスク イメージの書き込みを行うこともできます。



**注:**コピー保護がされていたり、エラーが含まれるディスクは、内容がコピーできない可能性があります。

### ディスクをコピーする

**[ディスクのコピー]** オプションでは、各種ディスク形式にコピーを作成できます。ただし、コピー元とコピー先のディスクは同じ形式でなくてはなりません。(例えば、CD のコンテンツを DVD にコピーすることはできません)

ディスクをコピーするには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter の **[データ&バックアップ]** メニューから、**[ディスク コピー、ディスク イメージの書き込み]** を選択します。CyberLink Power2Go の新規タスク ウィンドウの **[ディスク コピー]** を選択して、**[ディスク コピー]** ウィンドウを開きます。
2. 読み取りドライブと書き込みドライブを選択します。
3. 各ディスクの **[読み取り速度]** および **[書き込み速度]** を選択します。選択可能な速度は、書き込みドライブおよびディスクの品質によって異なります。
4. **[読み取りエラーを無視する]** を選択すると、エラーが発生してもディスクのコピーが続行します。
5. **[ハード ディスクにコピーする]** オプションを選択すると、コンピューターのハード ドライブにもディスクのコピーが保存されます (可能な場合)。
6. **[ディスク全体をコピーする]** を選択すると、ディスク全体のコンテンツが出力先のディスクにコピーされます。
7. **[コピー枚数]** に書き込みを行う枚数を入力します。
8. 書き込み処理時に、次のオプションを有効にすることができます (可能な場合)。
  - **[書き込みテストを行う]** を選択すると、書き込み前に書き込みテストが行われます。
  - **[書き込みデータを確認する]** を選択すると、書き込み後に書き込みデータを確認できます。
  - **[不具合管理を有効にする]** を選択すると、ディスクの不具合を修正して、正常に書き込みが行われます。
9. **[コピー]** をクリックすると、コピーおよび書き込み処理を開始します。
10. 書き込みが完了したら、ウィンドウに表示されるオプションを選択します。

- **[ログの表示]** をクリックして、書き込みログを表示します。デフォルトのテキスト エディター (ログの表示および保存が可能) に、ログが表示されません。
- **[OK]** をクリックして、ウィンドウを閉じます。

## ディスク イメージを書き込む

ディスク イメージは、ディスクのコンテンツおよびファイルの構造を複製したコンピューター内のファイルです。CyberLink Power2Go を使うと、ディスク イメージをディスクに書き込むことができます。

ディスク イメージを書き込むには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter の **[データ&バックアップ]** メニューから、**[ディスク コピー、ディスク イメージの書き込み]** を選択します。CyberLink Power2Go の新規タスク ウィンドウの **[ディスク イメージの書き込み]** を選択して、**[ディスク イメージの書き込み]** ウィンドウを開きます。
2.  をクリックして、読み取り元のディスク イメージを選択します。
3. ディスクを挿入して、**[書き込み先]** のドロップダウンからドライブを選択します。
4. ディスクの **[書き込み速度]** を選択します。選択可能な速度は、書き込みドライブおよびディスクの品質によって異なります。
5. **[コピー枚数]** に書き込みを行う枚数を入力します。
6. 書き込み処理時に、次のオプションを有効にすることができます (可能な場合)。
  - **[書き込みテストを行う]** を選択すると、書き込み前に書き込みテストが行われます。
  - **[書き込みデータを確認する]** を選択すると、書き込み後に書き込みデータを確認できます。

- **[不具合管理を有効にする]** を選択すると、ディスクの不具合を修正して、正常に書き込みが行われます。

7. **[書き込み]** をクリックして、書き込み処理を開始します。



**注:**書き込み後にコンピューターを自動的にシャットダウンする場合は、**[書き込み後、自動的にシャットダウンする]** オプションを選択します。

8. 書き込みが完了したら、ウィンドウに表示されるオプションを選択します。

- **[ログの表示]** をクリックして、書き込みログを表示します。デフォルトのテキスト エディター (ログの表示および保存が可能) に、ログが表示されます。
- **[OK]** をクリックして、ウィンドウを閉じます。

## ファイルのバックアップとリストア

データのバックアップはセキュリティにおける重要な作業のひとつです。これにより、災害やディスクエラーの発生時、またハッカーやウイルスによる攻撃を受けた場合などに、膨大な時間と費用を節約することができます。重要なデータを別の媒体にバックアップしておけば、データを元の状態にすみやかに戻すことができます。

### ファイルをバックアップする

データをバックアップするには、CyberLink Power2Go の **[データ&バックアップ]** メニューから **[ファイルのバックアップとリストア]** を選択します。ウィンドウ上の **[バックアップ]** ボタンをクリックして、次の操作を行います。

## ステップ 1 – バックアップ元の選択

バックアップウィンドウにある 2 つのファイルディレクトリウィンドウで、バックアップするファイルやフォルダを探して選択します。(これらのペインは、Windows Explorer と同じように機能します。)バックアップするファイルの種類に応じて、ディレクトリウィンドウの上にある **[ファイルおよびフォルダ]** または **[アプリケーションデータ]** を選択します。

## ステップ 2 – バックアップ先の選択

**[バックアップ先の選択]** をクリックし、バックアップ先を設定します。

- **バックアップ先:** ドロップダウン ボックスからバックアップ先を選択します。ハードウェア環境によっては、バックアップ先として、ハードディスクやディスクの書き込みドライブも選択することができます。
- **バックアップファイル名:** 各バックアップ ファイルに固有の名前がつけられます。バックアップ ファイルを別のディレクトリに保存するには、**[参照]** をクリックして、使用するフォルダーを選択します。
- **リストア ツールを含む:** 実行可能 (.exe) ファイルを作成して、PowerBackup プログラムがインストールされていないコンピュータでもデータを復元できるようにする場合、これを選択します。
- **バックアップファイルの分割設定:** バックアップファイルを指定したサイズに分割します。

## ステップ 3 – バックアップ方法/設定の選択

**[バックアップ方法/設定の選択]** をクリックし、使用するバックアップ方法 (必要に応じて詳細方法も) を選択します。

- バックアップ方法には、**[すべてバックアップする]**、**[差分をバックアップする]**、**[増分をバックアップする]** があります。
- その他のオプションを表示するには、**[オプション]** をクリックします。



**注:** この機能は製品のバージョンによって異なるため、一部の機能はご利用になれない場合があります。

## ステップ 4 – バックアップ作業の開始

**[バックアップ作業の開始]** をクリックします。設定が正しいか確認し、いずれかのボタンをクリックしてバックアップを開始します。

- **[バックアップの開始]** をクリックし、すぐにバックアップを開始します。
- **[スケジュールに追加]** をクリックして、今後のバックアップのスケジュールを設定します。

## ファイルのリストアを行う

バックアップ後にデータをリストアするには、CyberLink PowerStarter の **[データ&バックアップ]** メニューから **[ファイルのバックアップとリストア]** を選択します。ウィンドウ上の **[リストア]** ボタンをクリックして、次の操作を行います。

## ステップ 1 – リストア元の選択

リストア ウィンドウで **[リストア元]** ドロップダウン ボックスでリストアするソースを選択します。

- **バックアップ ファイル:** 既存のバックアップ ファイルからリストアします。バックアップ ファイルを開くには、**[参照]** をクリックし、使用するファイルを探して開きます。

- **バックアップの履歴**:以前のバックアップの記録からリストアします。  
(**[バックアップの履歴]** から記録を削除するには、**[編集] > [バックアップの履歴を削除]** または **[バックアップの履歴をすべて削除]** コマンドを使用します。)
- **ディスクドライブ**:ディスクからリストアします。

リストア元を選択したら、リストアするファイルを選択します。

## ステップ 2 - リストア先の選択

**[リストア先の選択]** をクリックし、リストア先を設定します。

- **オリジナルのファイルパス**:ファイルがバックアップされた元の場所にリストアします。
- **特定のファイルパス**:新しい場所にリストアします。新しいディレクトリを設定するには、**[参照]** をクリックし、使用するフォルダを探して選択します。
- **特定のファイルパス (フォルダ構成を保持しない)**:バックアップしたファイルすべてを、単一の新しいディレクトリにリストアします。新しいディレクトリを設定するには、**[参照]** をクリックし、使用するフォルダを探して選択します。

## ステップ 3 - リストア方法/設定の選択

**[リストア方法の選択]** をクリックし、リストア方法を選択します。

- **上書きしない**:ハードドライブにないファイルのみをリストアし、既存のファイルは上書きしません。
- **新しいファイルのみ上書きする**:バックアップコピーのほうが新しい場合、ハードドライブにあるファイルを上書きします。

- **常にファイルを上書きする:** 毎回、バックアップコピーでハードドライブにあるファイルを上書きします。
- **上書きに関する確認を表示する:** どちらのファイルを残すか、確認メッセージが表示されます。

## ステップ 4 - リストア作業の開始

[**リストア作業の開始**] をクリックし、設定が正しいことを確認します。 [**リストアの開始**] をクリックして、すぐにリストアします。

## ムービー ディスクのコピー

CyberLink PowerDVD Copy は、DVD ムービーをディスクやハードドライブからバックアップ DVD にコピーするための専用ツールです。DVD フォルダーをハードドライブに作成したり、ムービーとして DVD に書き込んだりできます。選びやすいオプションや、シンプルなインターフェイスにより、DVD コピー操作を簡単に行えます。

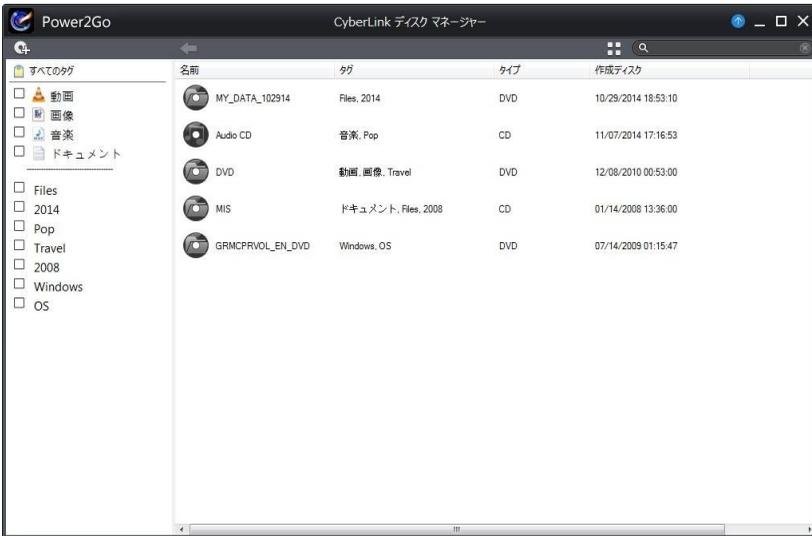
ムービー DVD をコピーするには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter の [**データ&バックアップ**] メニューから [**ムービー ディスクのコピー**] を選択します。CyberLink PowerDVD Copy のウィンドウが表示されます。
2. コピーするムービー DVD のビデオ ソースを選択します。
3. ムービー DVD のコピー先を選択します。
4. コンテンツの一部をコピーする場合、 ボタンをクリックして、コピーする DVD のコンテンツを選択します。
5.  をクリックします。CyberLink PowerDVD Copy は、ムービーをディスクに書き込みます。

# ディスク マネージャーでディスクを管理

ディスク マネージャー\* は、CyberLink Power2Go 10 を使って作成、書き込みを行った全ディスクのライブラリーです。書き込みタスクの終了後、これらのディスクは自動的にインポートされます。前に書き込みを行ったディスクを、ディスク マネージャー ライブラリーに読み込むこともできます。

ディスク マネージャーを開くには、CyberLink PowerStarter の **[データ&バックアップ]** メニューの **[ディスク マネージャーでディスクを管理]** オプションを選択します。ディスク マネージャー ウィンドウにラベル スナップショットが表示されると、書き込みディスクをさらに簡単に探すことができます。



ディスク マネージャー ライブラリーでディスクを検索するには、ウィンドウ左のタグを選択して、ディスクをフィルターにかけます。ウィンドウ左上の検索フィールドにキーワードを入力して、ディスクまたはファイルを検索することもできます。

ディスクを右クリックして **[ディスク情報]** を選択すると、ディスク作成時の情報などが表示されます。ディスクに書き込まれたコンテンツをライブラリーに表示するには、それをダブルクリックして、ファイルを表示します。ディスク中のファイルを表示する場合、ディスクをディスク ドライブに挿入してから、ファイルをダブルクリックします。

## ディスク ライブラリーにディスクを手動で読み込む

ディスク マネージャーでは、CyberLink Power2Go の以前のバージョンで作成したディスクや他のプログラムで書き込んだディスクを読み込むことができます。

ディスク マネージャー ライブラリーにディスクを読み込むには、次の操作を行います。

1. ディスク マネージャーの  をクリックします。[ディスクの読み込み] ウィンドウが開きます。
2. 読み込むディスクをディスク ドライブに挿入して、**[OK]** をクリックします。ディスクが読み込まれ、[ディスク情報] ウィンドウが表示されます。
3. 必要に応じて  をクリックして、ラベルのスナップショットを追加します。ディスク マネージャー ライブラリーで識別しやすくなります。詳細は、[「ディスク ラベルのスナップショットを編集する」](#) を参照してください。



**注:** ラベルのスナップショットを取得するには、コンピューターに Web カメラか他のビデオ デバイスが搭載されている必要があります。

4. 必要に応じて **[タグの編集]** をクリックして、ディスクにキーワード検索タグを追加します。詳細は、[「ディスクにタグを追加する」](#) を参照してください。

5. **[OK]** をクリックしてウィンドウを閉じ、ディスク マネージャー ライブラリーにディスクを追加します。

## ディスク ラベル スナップショット

ディスク ラベルのスナップショットは、ディスク マネージャー ライブラリーでディスクを識別するのに役立つ画像です。CyberLink LabelPrint を使ってディスク ラベルを作成している場合、自動的に読み込まれ、ディスク マネージャーのラベル スナップショットと同様に使用できます。

取り込んだラベルのスナップショットを編集したり、手描きテキストのディスク、絵、その他使いたいものを取り込んで新しいラベルのスナップショットを追加することができます。

## ディスク ラベルのスナップショットを編集する

ディスク ラベルのスナップショットを編集するには、次の操作を行います。

1. [ディスク情報] ウィンドウの  ボタンをクリックして、[ラベル スナップショットの取り込み] ウィンドウを開きます。
2. 取り込みに使用するデバイスをドロップダウンから選択します。
3. Web カメラの前にディスクまたは他のアイテムを置いて、 をクリックします。このステップを繰り返して、もう一度取り込むこともできます。
4. ラベル スナップショットの取り込みが完了したら、**[完了]** をクリックします。

## ディスクにタグを追加する

キーワード検索タグは、ディスク マネージャー ライブラリーでディスクを検索するのに役立ちます。これらのタグをフィルターにかけたり、検索したりして、ディスクを検索します。

ディスクにタグを追加するには、次の操作を行います。

1. [ディスク情報] ウィンドウの **[タグの編集]** ボタンをクリックして、[タグの編集] ウィンドウを開きます。
2. 必要に応じて、既存タグ横のチェック ボックスを選択して、それらのタグを追加します。
3. 新しいタグを追加するには、フィールドに新しいタグを入力して  をクリックします。
4. 検索が完了し、すべてのタグを追加したら、**[OK]** をクリックして変更内容を保存します。

## 第 7 章:

# ユーティリティー

CyberLink Media Suite には、ディスクの消去や、ディスク ラベルの印刷など、便利なユーティリティーが多数入っています。

ディスク イメージのマウント、既存のディスク イメージからファイルを抽出、DVD フォルダの書き込みなどもできます。



**注:**これらのプログラムと機能に関する詳細は、製品のヘルプ ファイルを参照してください。

## ディスクの消去

再書き込み可能ディスクの場合、以前に記録された内容を消去することができます。これにより、新しいディスクを買わずに、同じディスクを何度も再利用することができます。

ディスクを消去するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter の **[ユーティリティー]** メニューから、**[ディスクの消去]** を選択します。[再書き込み可能なメディアの消去] ウィンドウが開きます。
2. ディスクを挿入して、ドロップダウンから **[書き込みドライブ]** を選択します。
3. 次の消去方法のいずれかを選択します。
  - **高速消去:** ディスクのインデックスを消去します。
  - **完全消去:** ディスクに含まれるすべてのコンテンツを消去します。
4. **[消去]** をクリックして、消去処理を開始します。

# ディスク イメージからファイルを抽出

CyberLink ISO を使って、コンピューター ハード ドライブ内の ISO、P2I (Power2Go イメージ)、RDF 形式のディスク イメージを表示することができます。このツールを使うと、イメージ ファイルのコンテンツを表示したり、ファイルを抽出したり、イメージをディスクに書き込むことができます。

ディスクイメージからファイルを抽出するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter の **[ユーティリティー]** メニューから、**[ディスク イメージからファイルを抽出]** を選択します。CyberLink ISO ビューアーが開きます。
2. CyberLink ISO ビューアーで実行可能な機能は、次の通りです。
  -  ボタンをクリックして、コンピューターのイメージ ファイル (ISO、P2I、RDF 形式) を検索および開きます。イメージ ファイルが開くと、イメージに含まれるすべてのファイルが表示されます。



**注:** CyberLink ISO ビューアーでのファイルの表示を変更するには、 をクリックします。

- CyberLink ISO ビューアーでファイルをクリックして、 をクリックすると、デフォルトのプログラムが表示されます。
- イメージからファイルを抽出してコンピューターに保存するには、ファイルを選択して  をクリックします。

## 仮装ドライブのマウント

The Power2Go の仮想ドライブは、ディスク イメージ ファイルをマウントして、コンピューターの実際のディスク ドライブと同様にアクセスすることができます。

Power2Go 仮想ドライブでディスク イメージをマウントするには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter の **[ユーティリティー]** メニューから、**[仮想ドライブのマウント]** を選択します。[仮想ドライブ] ウィンドウが開きます。
2. **[仮想ドライブを有効にする]** オプションを選択します。
3. **[イメージの場所]** の  をクリックして、マウントするイメージの場所を選択します。CyberLink Power2Go は、ISO、P2I (Power2Go イメージ)、RDF の形式に対応しています。
4. **[ドライブ名]** のドロップダウンから、マウントするディスク イメージのドライブ名を指定します。Windows エクスプローラーでは、指定したドライブ名で表示されます。
5. **[OK]** をクリックして、ドライブをマウントします。Windows エクスプローラーで表示される他のディスクと同様、ディスク イメージが利用できるようになります。



**注:** コンピューターを再起動しても、仮想ドライブを無効にするまで、ディスク イメージはドライブとしてマウントされた状態となります。

## メディアをデバイスに転送

メディアを他の形式に変換後、CyberLink MediaEspresso は USB ケーブルで接続されたデバイスに自動的に転送します。メディアを変換、デバイスに転送するには、CyberLink PowerStarter の **[ユーティリティー]** メニューから **[メディアをデバイスに転送]** を選択します。CyberLink MediaEspresso が開きます。



**注:** このプログラムと機能に関する詳細は、製品のヘルプ ファイルを参照してください。

メディアを転送するには、変換処理中に **[変換後、接続したデバイスに転送する]** オプションを選択し、デバイスがコンピューターに接続されていることを確認します。変換が完了すると、変換されたメディアはデバイスに転送されます。

## DVD フォルダーの書き込み

DVD フォルダーを作成したら、このフォルダーをディスクに書き込んで保存できます。

DVD フォルダー からディスクを書き込むには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter の **[ユーティリティー]** メニューから、**[DVD フォルダーの書き込み]** を選択します。CyberLink PowerProducer の **[フォルダーの書き込み]** ウィンドウが表示されます。
2. ディスクを挿入して、ドライブを選択します。
3.  をクリックして、読み取り元のフォルダーを選択します。
4. **[開始]** をクリックして開始します。フォルダーがディスクに書き込まれます。
5. **[閉じる]** をクリックして、**[ディスク ユーティリティー]** ウィンドウに戻ります。

## ディスク ラベルの印刷

Cyberlink LabelPrint は、さまざまなレイアウト形式に対応します。また LightScribe 技術によるディスクへの直接印刷をはじめとする、多くの印刷オプションがあります。



**注:** このアプリケーションと機能に関する詳細は、製品のヘルプ ファイルを参照してください。

ラベルを作成するには、CyberLink PowerStarter の **[ユーティリティー]** メニューから、**[ディスク ラベルの印刷]** を選択します。

## ステップ 1 - ラベル種類の選択

まず、印刷するラベルの種類を選択します。LightScribe ラベル、ディスク ラベル、ミニ ディスク ラベル、フロント ジャケット (表)、フロント ジャケット (裏)、リア ジャケットから選択します。

## ステップ 2 - ラベルテキストの編集

タイトルなどのディスク情報を追加または編集し、ディスクを識別できるようにします。また、コンテンツの情報を追加または編集し、ディスクに保存されているファイルがわかるようにします。この操作は、[ラベルテキストの編集] ページで行えます。

## ステップ 3 - レイアウトなどの編集

レイアウトを選択し、フォントを変更し、カスタムの背景画像を使って、より個性的なディスクラベルを作成します。次の操作を行います。

- ラベルのレイアウトを選択します。
- 背景画像を追加します。
- テキストを追加/変更します。

## ステップ 4 - 印刷

CyberLink LabelPrint でラベル印刷を行います。印刷可能なものは、次の通りです。

- **無地:** プリンターがサポートする用紙に印刷します。
- **ラベル用紙:** ラベル用の専用紙に印刷します。
- **ディスク:** ディスクに直接印刷します。紙は不要ですが、LightScribe 専用の書き込みドライブとディスクが必要です。

# ミラー

CyberLink YouCam\* ミラーは、通常のミラーのように映し出されるモードです。CyberLink YouCam ミラーを開くには、**【ユーティリティー】**メニューから**【ミラー】**を選択します。



**注:**\* CyberLink Media Suite のオプション機能です。バージョンの詳細については、「バージョン表」を参照してください。

CyberLink YouCam ミラーでは、次のオプションが利用できます。

- スライダーを使って、ミラー映像を拡大/縮小します。
-  をクリックして、ミラー映像を補正します。
-  ボタンをクリックして、ミラー映像を左右に逆転します。
-  ボタンをクリックして、[「ミラーの設定」](#) にアクセスします。

## ミラーの設定

ミラーの設定ダイアログで、次のように設定を行います。

- **【解像度】** タブを選択して、ミラー モード用の解像度を設定します。設定可能な解像度は、Web カメラがサポートする映像出力によって異なります。



**注:**ミラー映像を最適に表示するには、解像度を最大に設定することをお勧めします。ミラー モードは、HD (1280x720) 出力に対応する Web カメラを使用時に、最適に表示されます。

- **【フレーム】** タブからミラーのフレームを選択します。

終了するには、 をクリックして設定ダイアログを閉じ、変更を設定します。

# スクリーン レコーダー

[スクリーン レコーダー]\* を使うと、マウスの動きやコンピューターの使用状況を録画して、チュートリアル ビデオを作成したり、Web キャスティングの録画などができます。スクリーン レコーダーのダイアログにアクセスするには、**[ユーティリティ]** メニューから **[スクリーン レコーダー]** を選択します。



**注:**\* CyberLink Media Suite のオプション機能です。バージョンの詳細については、「バージョン表」を参照してください。

この機能に関する詳細は、[「デスクトップから動画を録画」](#) を参照してください。

## 第 8 章:

# CyberLink モバイル アプリ

CyberLink Media Suite から、Android、iOS、Windows デバイス向けのモバイル アプリに直接アクセスすることもできます。  ボタンをクリックすると、すべてのアプリが表示されます。各アプリのアイコンをクリックすると、説明、QR コード、ダウンロード リンクが表示され、そこからアクセスできます。これらのアプリは無料です。

## 第 9 章:

# テクニカル サポート

この章では、テクニカル サポートについて説明します。ユーザーが回答を見つけるために役立つ情報が含まれています。ご購入の代理店、販売店にお問い合わせいただくこともできます。

## テクニカル サポートにお問い合わせになる前 に

テクニカル サポートにお問い合わせいただく前に、次のサポート オプション内容をご確認ください (無料)。

- プログラムに組み込まれている「ユーザーガイド」または「オンラインヘルプ」を参照する。
- CyberLink Web サイトの FAQ を参照する。  
<http://jp.cyberlink.com/support/search-product-result.do>
- このドキュメントの「[ヘルプリソース](#)」ページを参照する。

テクニカル サポートにメールまたは電話で連絡する際には、次の情報をあらかじめご用意ください。

- 登録済み **プロダクト キー** (プロダクト キーは、ソフトウェア ディスク ケース、ボックス カバー、または CyberLink ストアで製品購入時に受け取ったメールに記載されています)。
- 製品名、バージョン、ビルド番号 (通常、ユーザー インターフェイス上の製品名をクリックすると表示されます)。
- お使いの Windows OS のバージョン。

- システムのハードウェア デバイス (キャプチャー カード、サウンド カード、VGA カード) およびその仕様。システム情報を DxDiag.txt で出力し、添付する。



**注:**システム情報を DxDiag.txt ファイルで出力するには、Windows (スタート) ボタンをクリックし、"dxdiag" を検索します。[情報をすべて保存] ボタンをクリックして、DxDiag.txt ファイルを保存します。

- 表示された警告メッセージの内容 (メッセージの内容はメモするか、スクリーンショットをとっておいてください)。
- トラブルの詳しい内容と、発生した状況。

## Web サポート

CyberLink の Web サポートは、24 時間いつでも無料でご利用いただけます。



**注:**CyberLink の Web サポートをご利用いただくには、まずメンバー登録を行う必要があります。

CyberLink では、FAQ を始めとしたさまざまな Web サポート オプションを、次の言語で提供しています。

言語	Web サポート URL
英語	<a href="http://www.cyberlink.com/cs-help">http://www.cyberlink.com/cs-help</a>
中国語 (繁体字)	<a href="http://tw.cyberlink.com/cs-help">http://tw.cyberlink.com/cs-help</a>
日本語	<a href="http://jp.cyberlink.com/cs-help">http://jp.cyberlink.com/cs-help</a>
スペイン語	<a href="http://es.cyberlink.com/cs-help">http://es.cyberlink.com/cs-help</a>
韓国語	<a href="http://kr.cyberlink.com/cs-help">http://kr.cyberlink.com/cs-help</a>
中国語 (簡体字)	<a href="http://cn.cyberlink.com/cs-help">http://cn.cyberlink.com/cs-help</a>
ドイツ語	<a href="http://de.cyberlink.com/cs-help">http://de.cyberlink.com/cs-help</a>
フランス語	<a href="http://fr.cyberlink.com/cs-help">http://fr.cyberlink.com/cs-help</a>

イタリア語

<http://it.cyberlink.com/cs-help>

## ヘルプ リソース

CyberLink 製品をご使用の際、次のヘルプ リソースもご利用いただけます。

- CyberLink の **FAQ** ページ:<http://jp.cyberlink.com/cs-resource>
- ソフトウェアの **ビデオ チュートリアル**  
:<http://directorzone.cyberlink.com/tutorial/>